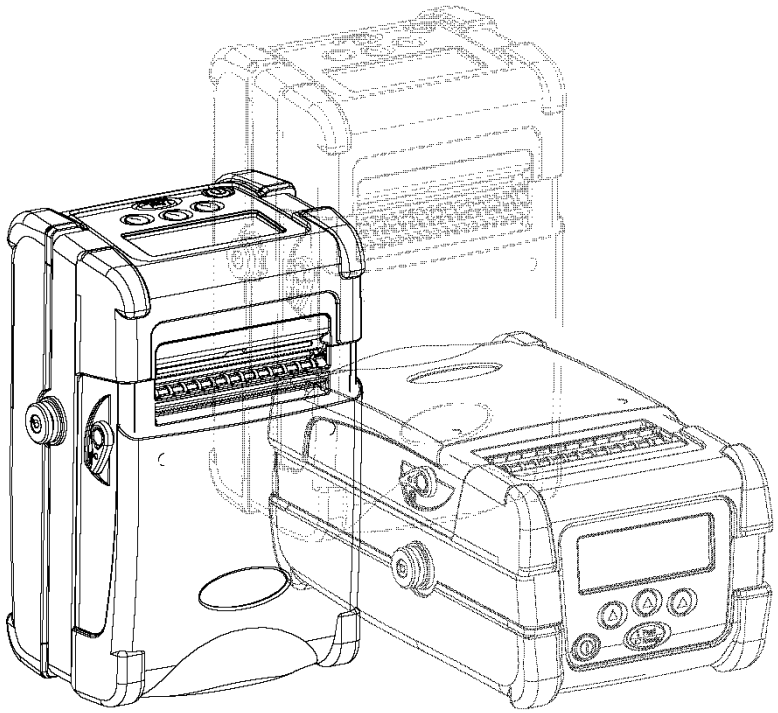
M23

感熱ポータブルプリンタ

取扱説明書



目次

版権について 1
遵守規制 1

1. 概要 2

1.1 文書 2
1.2 箱の中身を確認する 2
1.3 設備のチェックリスト 2
1.4 正面図 3
1.5 背面図 5

2. 使い始める 6

2.1 バッテリを取り付ける 6
2.2 ストラップを使用する 7
2.2.1 ハンドストラップ 7
2.2.2 ショルダーストラップ（オプション） 8
2.3 メディアを取り付ける 9
2.3.1 レシート用の連続ラベルを取り付ける 9
2.3.2 ダイカットラベルを取り付ける 10
2.3.3 ファンフォールドラベルを取り付ける 12
2.4 通信ケーブルを接続する 14
2.5 Bluetooth ワイヤレスを使用する（オプション） 15
2.6 バッテリを充電する 16

3. ディスプレイとボタンを使用する 17

3.1 液晶ディスプレイとボタン 17
3.2 液晶ディスプレイのアイコンの説明 18
3.3 液晶／キーボードの操作 19
3.3.1 プリンタの電源をオン／オフする 19
3.3.2 矢印キー 19
3.3.3 メニューを終了する 19
3.3.4 エラー状態をキャンセルする 19

4. 液晶メニューの概要 20

4.1 Setup (設定) 22
4.1.1 Printer Setup (プリンタの設定) 22
4.1.2 Sensor (センサー) 26

4.1.3 Serial Comm. (シリアル通信)....32
4.1.4 RF Network (RF ネットワーク) (オプション)....34
4.1.5 Bluetooth (オプション)....38
4.1.6 Display (ディスプレイ)....39
4.1.7 Power Manager (電源マネージャー) (Low Power (低出力), Shut Down (シャットダウン)) 40
4.2 File Manager (ファイルマネージャー)....41
4.2.1 File List (ファイル一覧)....41
4.2.2 Avail. Memory (利用可能なメモリ)....42
4.2.3 Del. All Files (すべてのファイルを削除する)....42
4.3 Diagnostics (診断)....43
4.3.1 Print Config. (印刷設定)....43
4.3.2 Dump Mode (ダンプモード)....44
4.3.3 Battery (バッテリ)....44
4.3.4 Print Head (印字ヘッド)....44
4.3.5 Display (ディスプレイ)....44
4.3.6 Buttons (ボタン)....45
4.4 Language (言語) 47
4.5 Service (サービス) 48
4.5.1 Initialization (初期化)....48
4.5.2 Mileage Info. (使用量情報)....49

5. ラベルに印字する....50

5.1 ケーブルをつないで印字する 50
5.2 無線で接続する (オプション)....50
5.3 単体での印字....51

6. トラブルシューティング....52

7. メンテナンス....54

8. ファームウェア更新手順....57

8.1 シリアルポートを介してファームウェアを更新する....57
8.2 USB ポートを介してファームウェアを更新する 60

9. 電源投入ユーティリティ....61

9.1 プリンタの初期化 61
9.2 AUTO.BAS 無視 62

版権について

このマニュアルの内容は、予告なしに変更されることがあり、またはTSC Auto ID Technology Co., Ltd.の義務を表すものではありません。TSC Auto ID Technology Co., Ltd.が書面で許諾した場合を除き、この説明書のいかなる部分も、いかなる形態、手段により、購入者が個人的に使用する目的のために、複写または転送することは許されていません。
トゥルータイプフォントエンジンは、デビッド・ターナー、ロバート・ウィルヘルム、ワーナー・レンバーグによる「フリータイププロジェクト」により開発されたものです。本説明書で参照しているその他のすべての製品は、その属する各社の商標または登録商標です。

遵守規制

CE クラス B:
EN55022:1998+A1:2000+A2:2003:
EN55024:1998+A1:2001+A2:2003:
EN 61000-4 シリーズの規制
ETSI EN 301 489-17:V1.2.1(2002-08)
FCC:
CFR 47, パート 15/CISPR 22 第 3 版:1997, クラス B
ANSI C63.4:2003
カナダ ICES-003
C-Tick:
AS/NZS CISPR22 (クラス B)
UL, CUL
UL 60950 3rd
TÜV-GS:
EN60950: 2000

安全のための重要な注意事項

1. この注意事項をよくお読みください。
2. この説明書は大切に保管してください。
3. お手入れの前にはデバイスを電源から抜いてください。液体またはスプレーの洗浄剤は使用しないでください。湿らせた布でお手入れを行うのが一番です。
4. 電源はデバイスの近くにし、簡単に手が届く場所にしてください。
5. デバイスは湿気から保護してください。
6. 据付けの際にはデバイスが安定して置かれていることを確認してください。傾いていたり、倒れたりすると、破損の原因となります。
7. デバイスを電源に接続する際には、接続値が適切であることを確認してください。
8. このデバイスは、最高 40℃の環境温度での操作をサポートします。

1. 概要

TSC M23 感熱プリンタをお買い上げいただきありがとうございます。
M23 は、ラベル、レシート、タグ、ファンフォールドペーパーなど、様々なメディアを使用できるポータブルプリンタです。液晶ディスプレイがついており、操作しやすく、プリンタの状態を簡単に理解することができます。802.11b WiFi と Bluetooth での通信が可能な M23 は、モバイル印字テクノロジのニーズを広げます。

1.1 文書

この文書は、TSC M23 プリンタの操作方法を簡単に参照するために提供されるものです。プログラマーマニュアルのオンラインバージョン、またはその他の情報は、サービス及びサポートのウェブサイトから、Adobe® Acrobat® Reader ファイルとしてダウンロードすることができます。

1.2 箱の中身を確認する

このプリンタは、配送中に損傷を受けないよう、特別な梱包が行なわれています。バーコードプリンタを受け取った際には、梱包とプリンタを注意深く確認してください。プリンタを返送いただく場合に備え、梱包材は大切に保管してください。

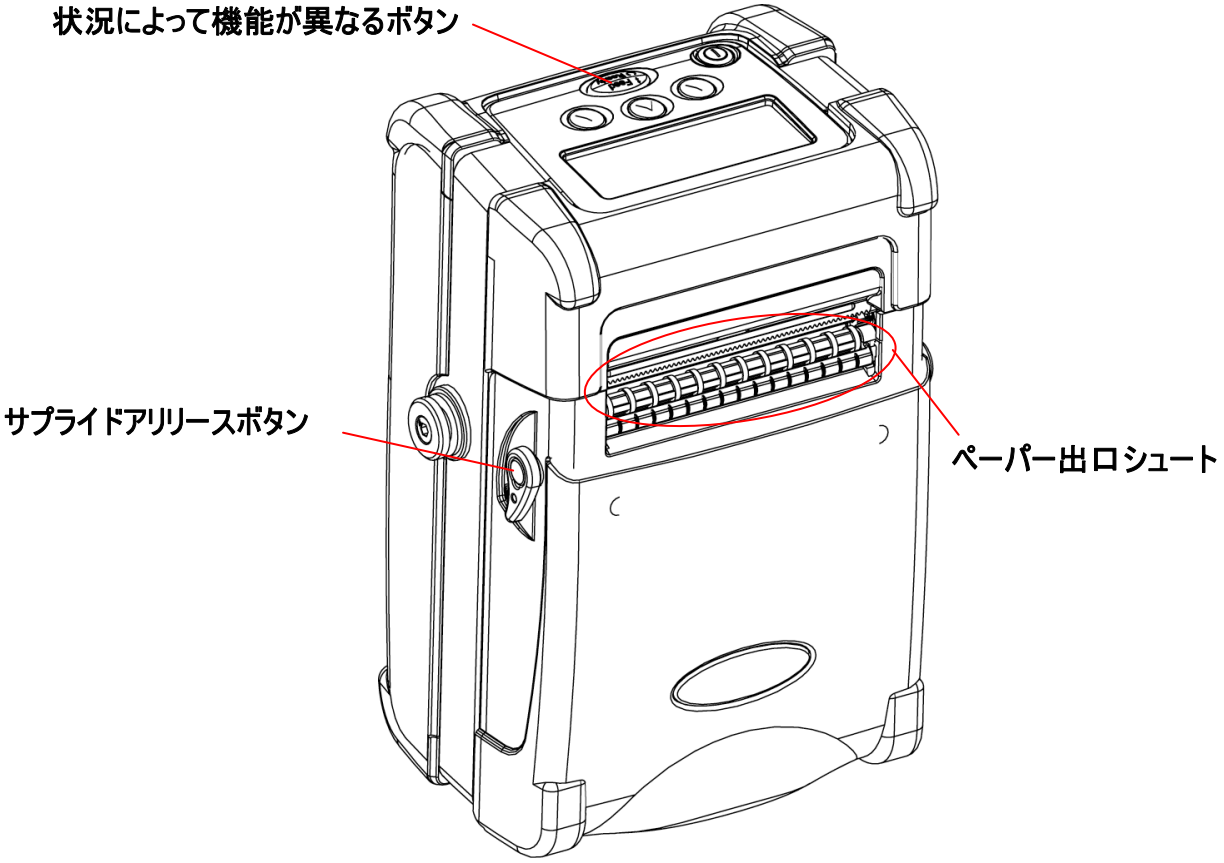
1.3 設備のチェックリスト

プリンタの箱の中には、次のものが含まれています。

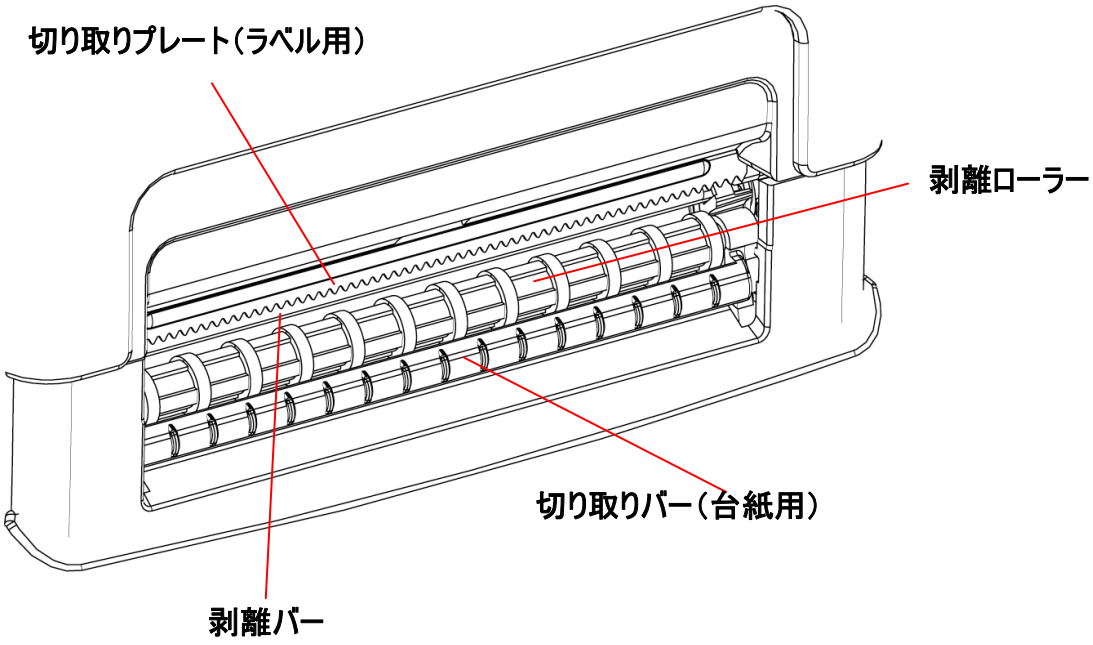
- M23 プリンタ×1
- ソフトウェア CD ディスク×1
- ハンドストラップ×1
- リチウムイオンバッテリ×1
- シングルベイ充電器及びアダプタ×1
- クイックスタートガイド×1

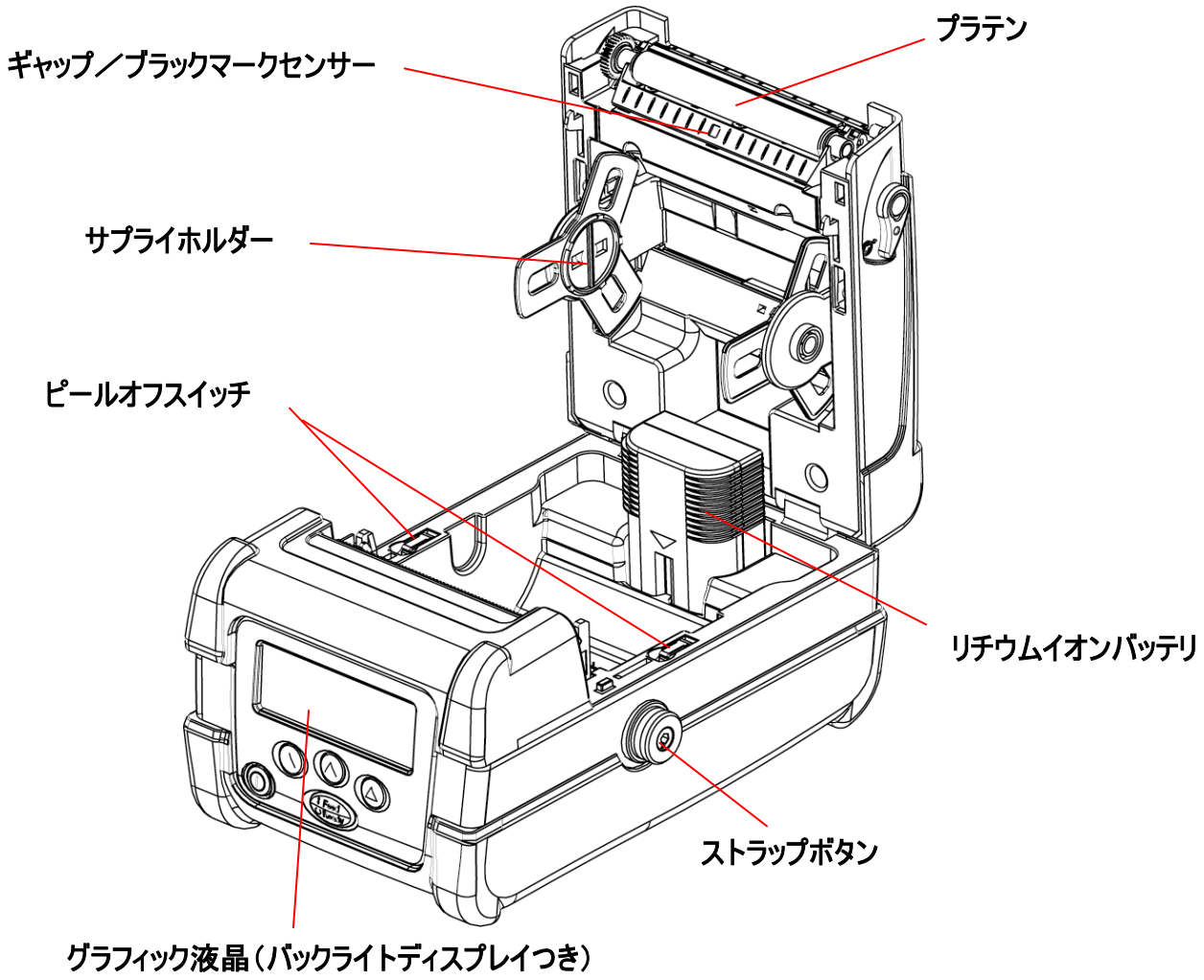
入っていない部品があった場合、お買い上げいただいた販売店または代理店の顧客サービス部門までご連絡ください。

1.4 正面図

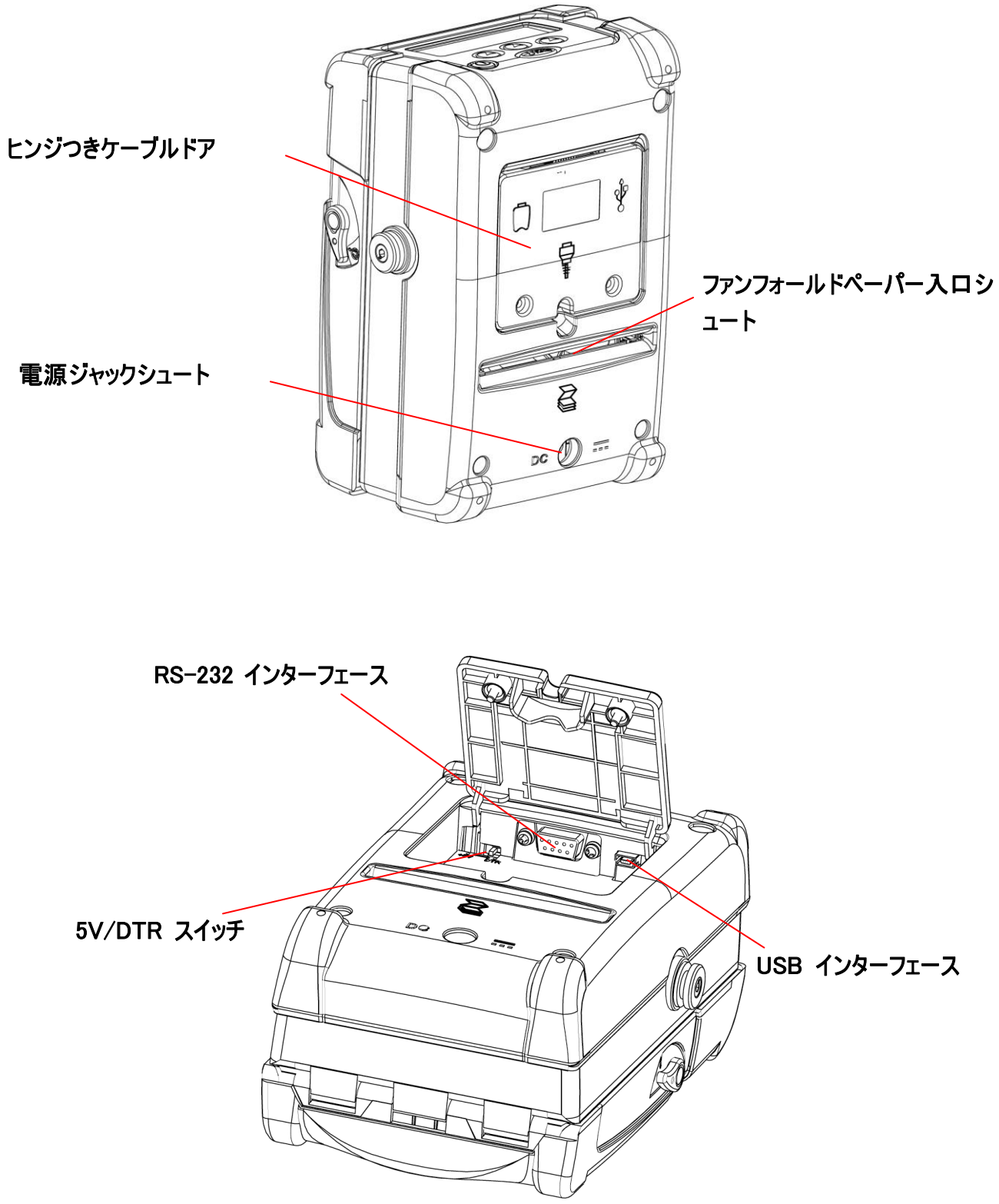


⚠注意:
危険な部品です。指や体の他の部分が触れないようにしてください。




プラテン
ギャップ／ブラックマークセンサー
サプライホルダー
ピールオフスイッチ
リチウムイオンバッテリ
ストラップボタン
グラフィック液晶（バックライトディスプレイつき）

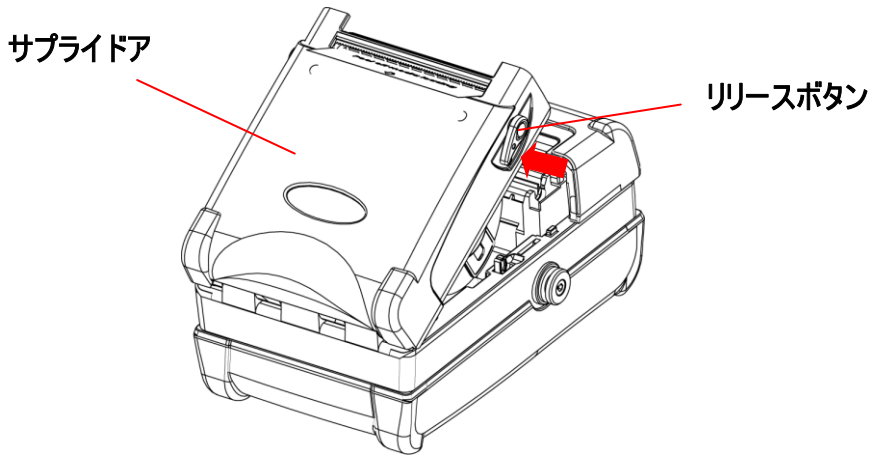
1.5 背面図


ヒンジつきケーブルドア
ファンフォールドペーパー入口シュート
電源ジャックシュート
RS-232 インターフェース
5V/DTR スイッチ
USB インターフェース

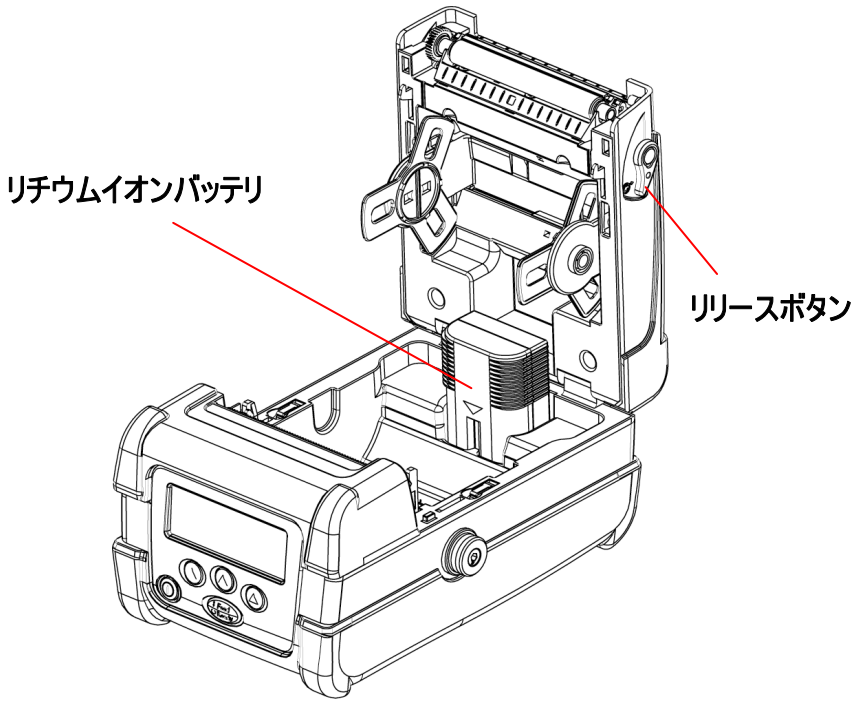
2. 使い始める

2.1 バッテリを取り付ける

1. プリンタの両側にあるリリースボタンを外側に引いて、サプライドアを開く。サプライドアが開きます。



2. バッテリのコネクタ側をプリンタに差し込む。

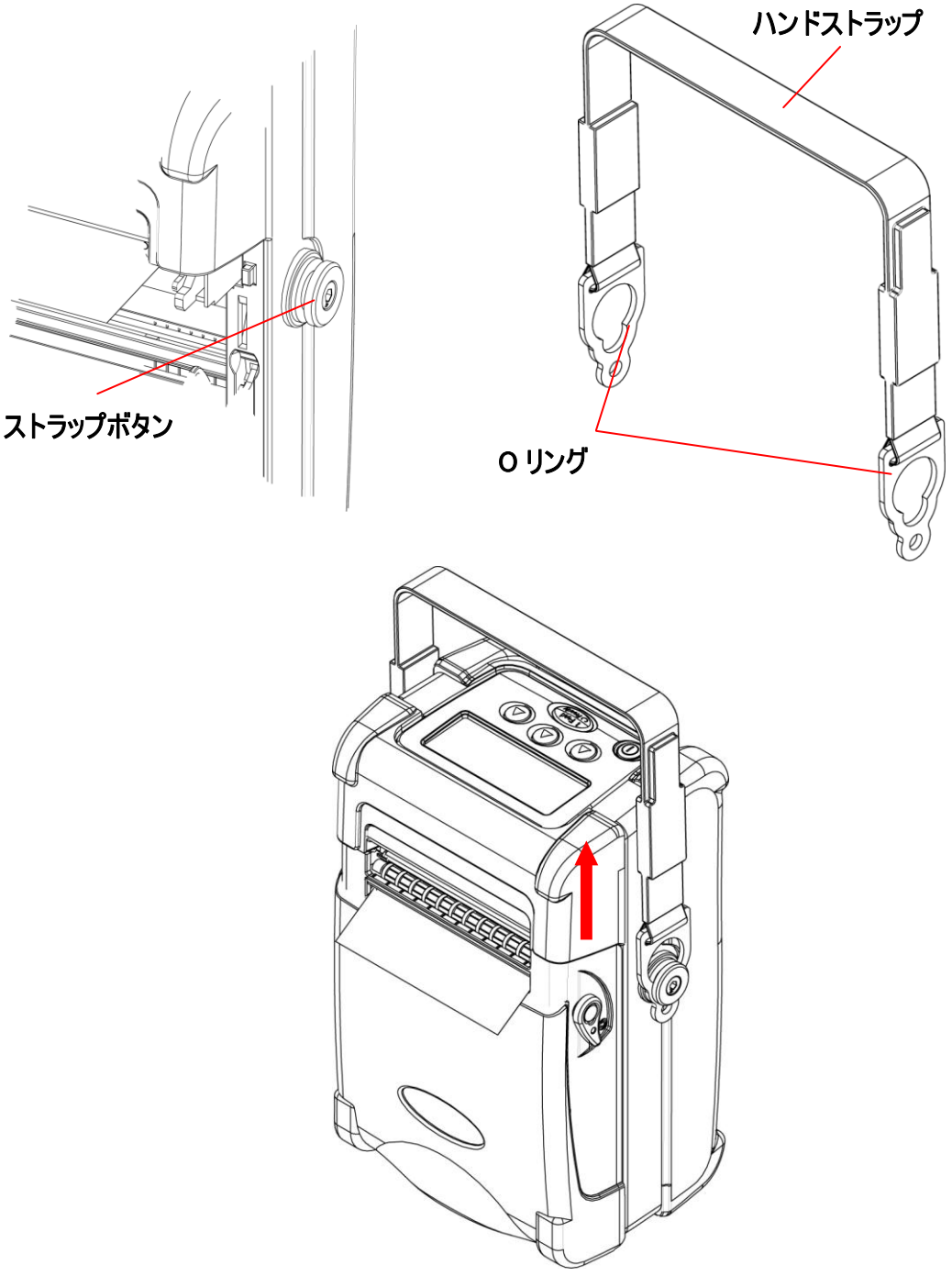


3. メディアを入れたら、リリースボタンがカチッというまで、サプライドアを閉じる。

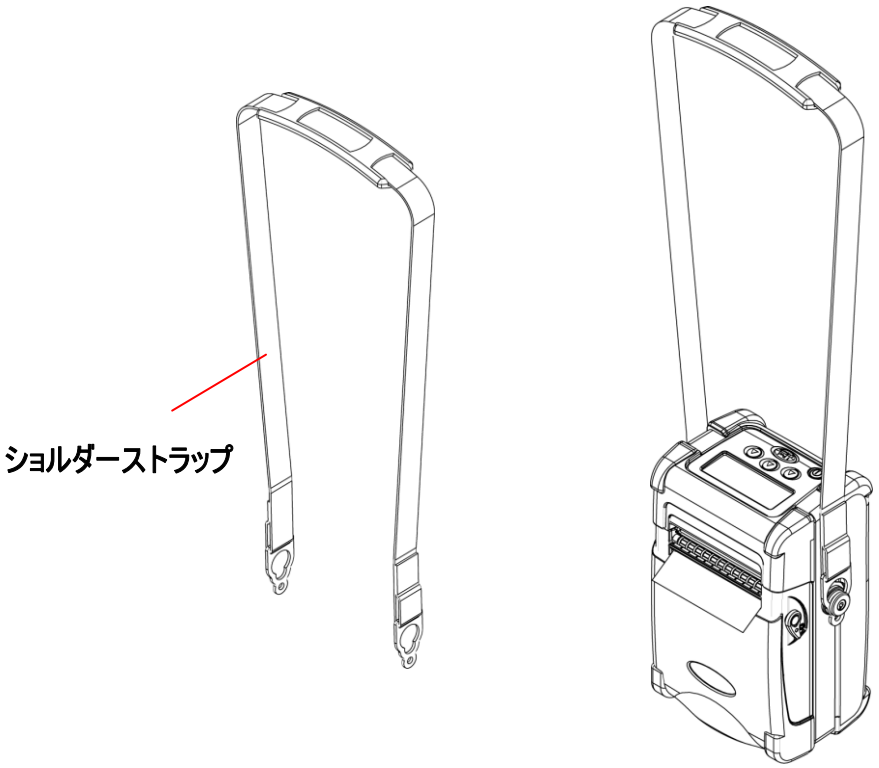
2.2 ストラップを使用する

2.2.1 ハンドストラップ

1. 各 O リングをストラップボタンに置き、ストラップがカチッと固定されるまでストラップを軽く引いて、ハンドストラップの両側の輪をストラップボタンに留める。



2.2.2 ショルダーストラップ（オプション）

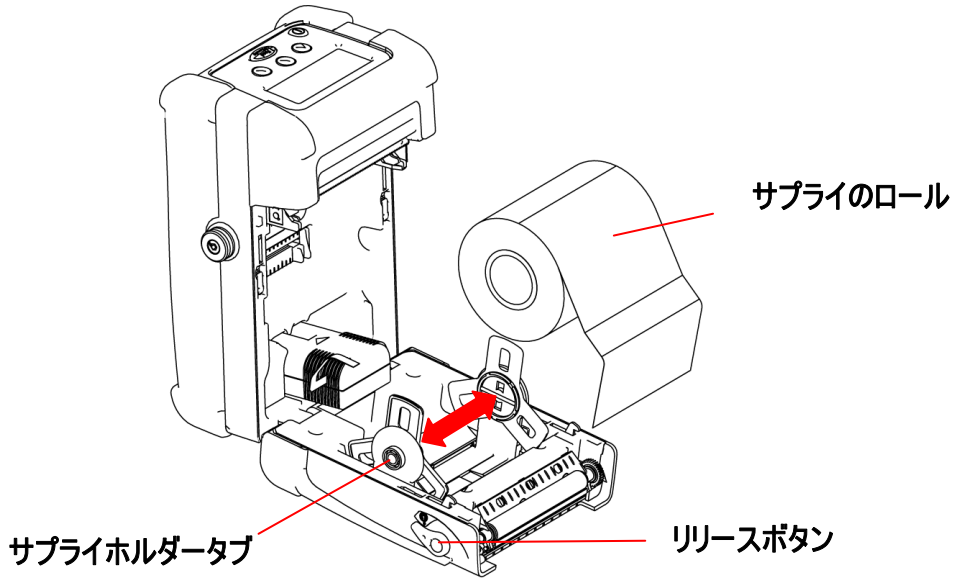


2.3 メディアを取り付ける

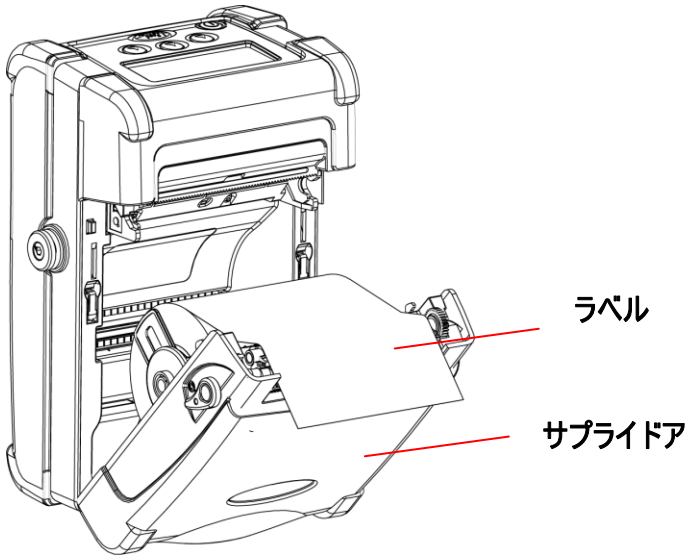
2.3.1 レシート用の連続ラベルを取り付ける

1. プリンタの両側にあるリリースボタンを外側に引いて、サプライドアを開く。

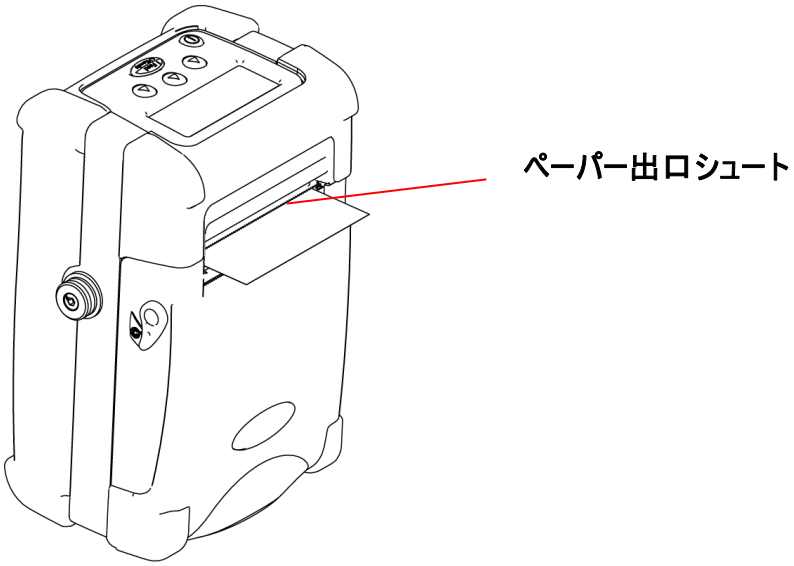
2. サプライホルダータブを引き、メディアの新しいロールを挿入する。図のように、上から出てくるように、メディアを確実に置く。



3. 出口シュートに被さるように、充分に引き出す。



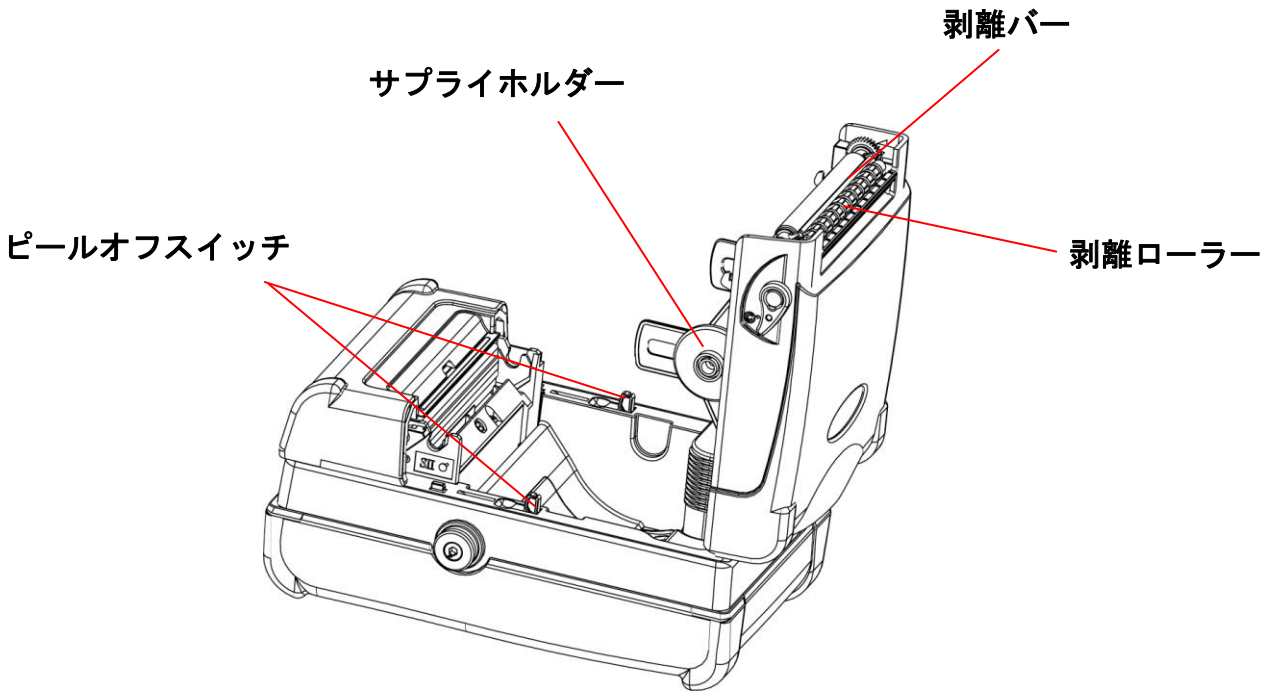
4. リリースボタンがカチッというまで、サプライドアを閉じる。



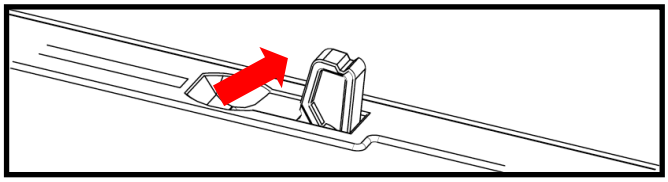
注：センサータイプを［連続］に設定してください。

2.3.2 ダイカットラベルを取り付ける

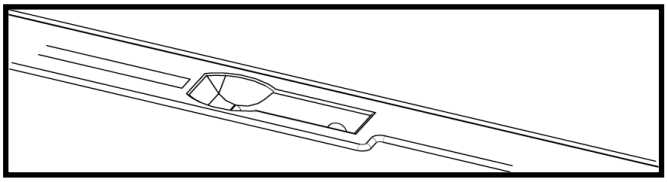
1. プリンタの両側にあるリリースボタンを外側に引いて、サプライドアを開く。



2. 両側のピールオフスイッチを持ち上げる。



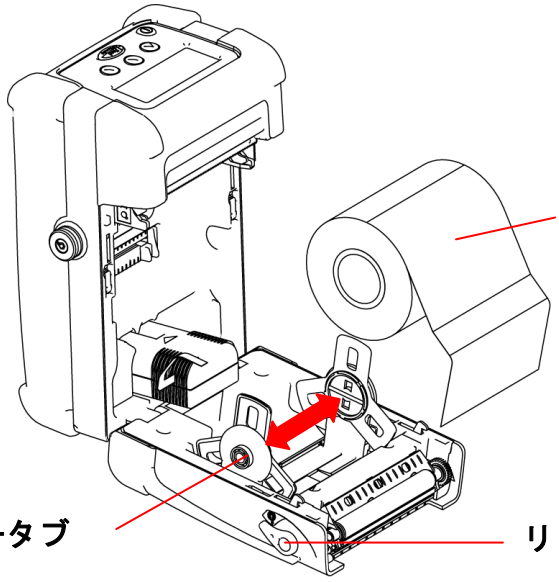
*ピールオフスイッチを**上**に上げる*



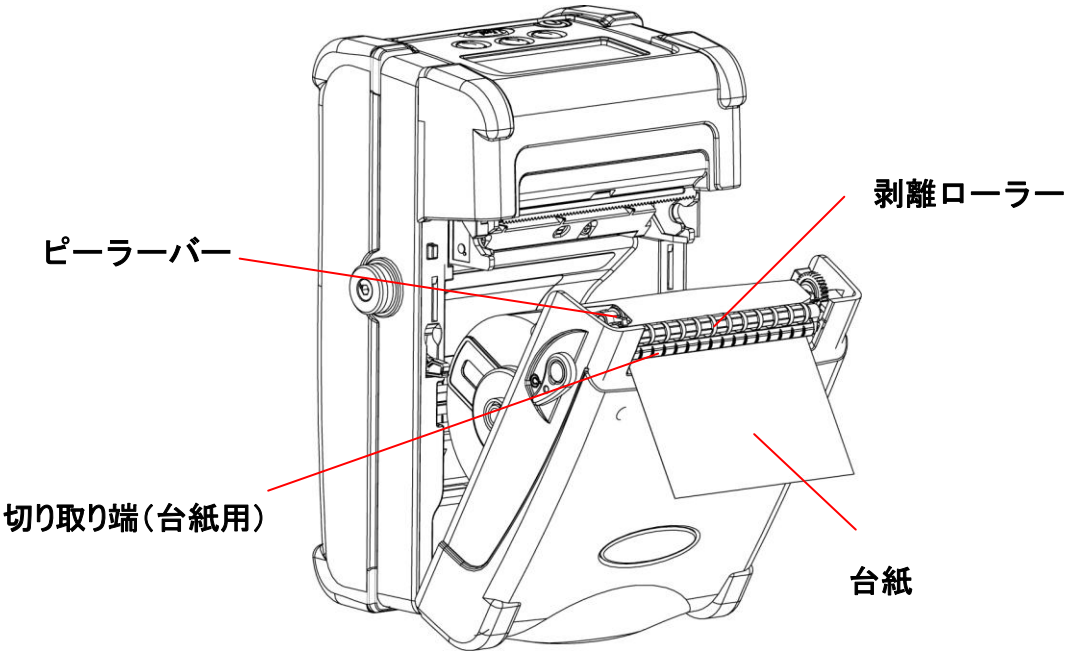
*ピールオフスイッチを**下**に下げる*

3. サプライホルダータブを引き、ラベルのロールを挿入する。図のように、上から出てくるように、サプライを確実に置く。

注：メディアを変更する際には、ギャップ／ブラックマークセンサーを補正してください。



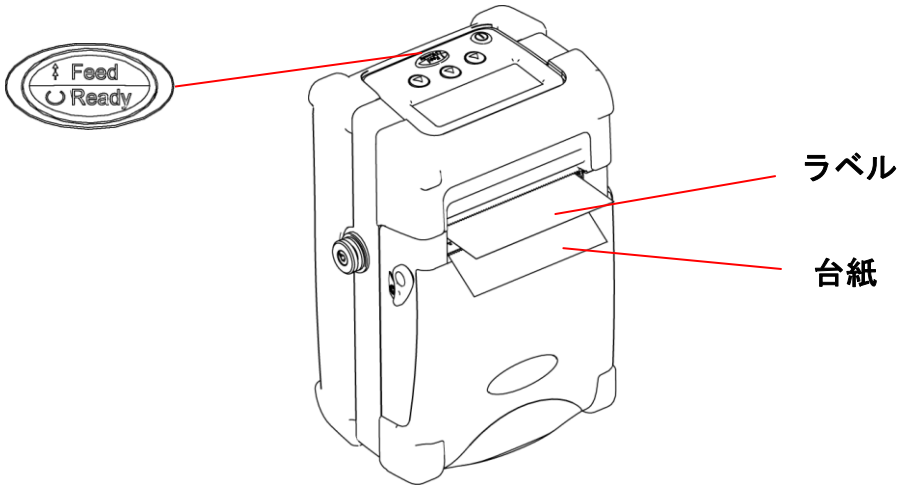
4. 台紙からラベルを何枚か剥がす。ピーラーバーとピールオフローラーの間の隙間に台紙を入れる。



5. サプライドアを閉める。

6.

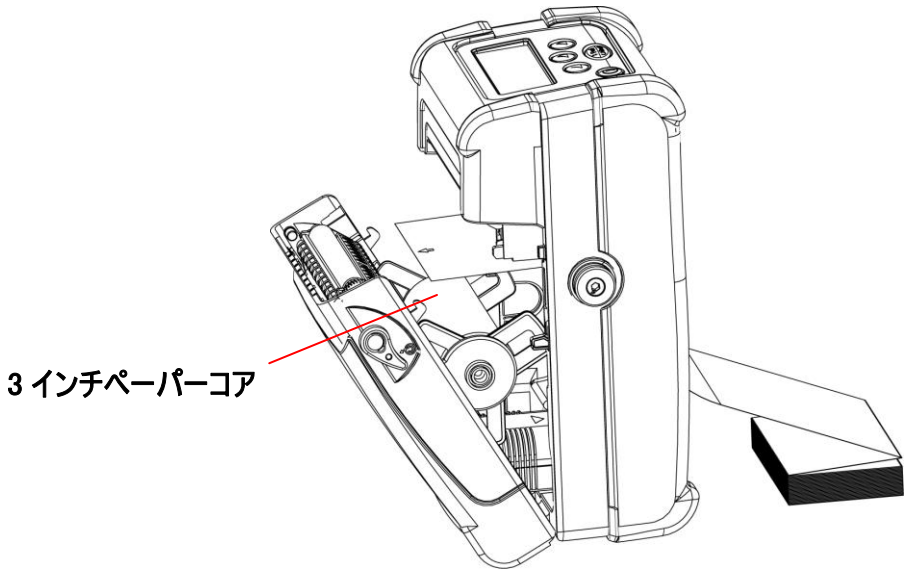
ボタンを 1～2 回押して、台紙がラベルから離れるまでラベルを進める。



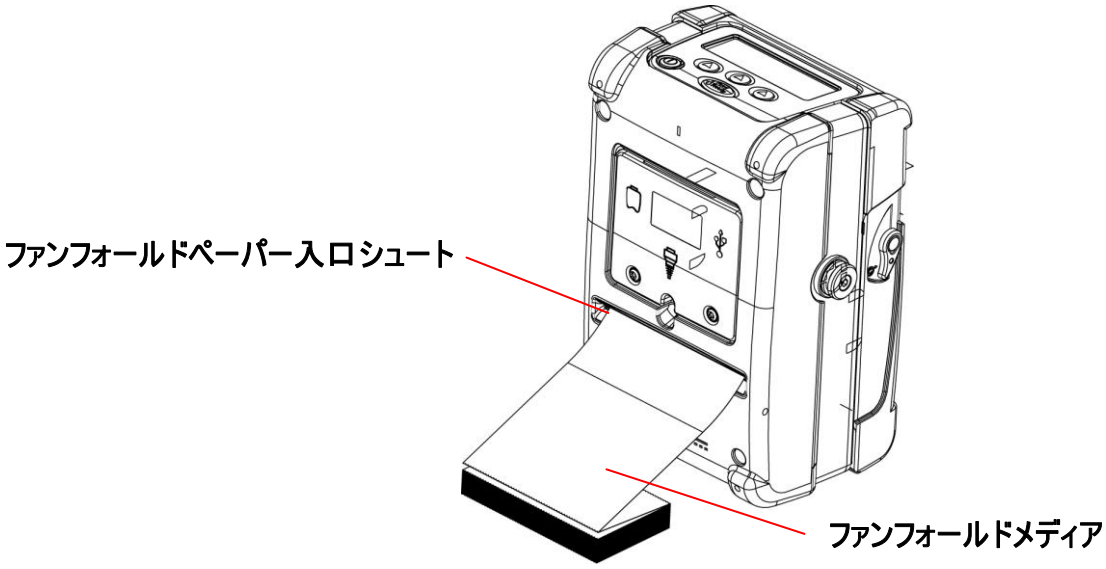
2.3.3 ファンフォールドラベルを取り付ける

1. プリンタの両側にあるリリースボタンを外側に引いて、サプライドアを開く。

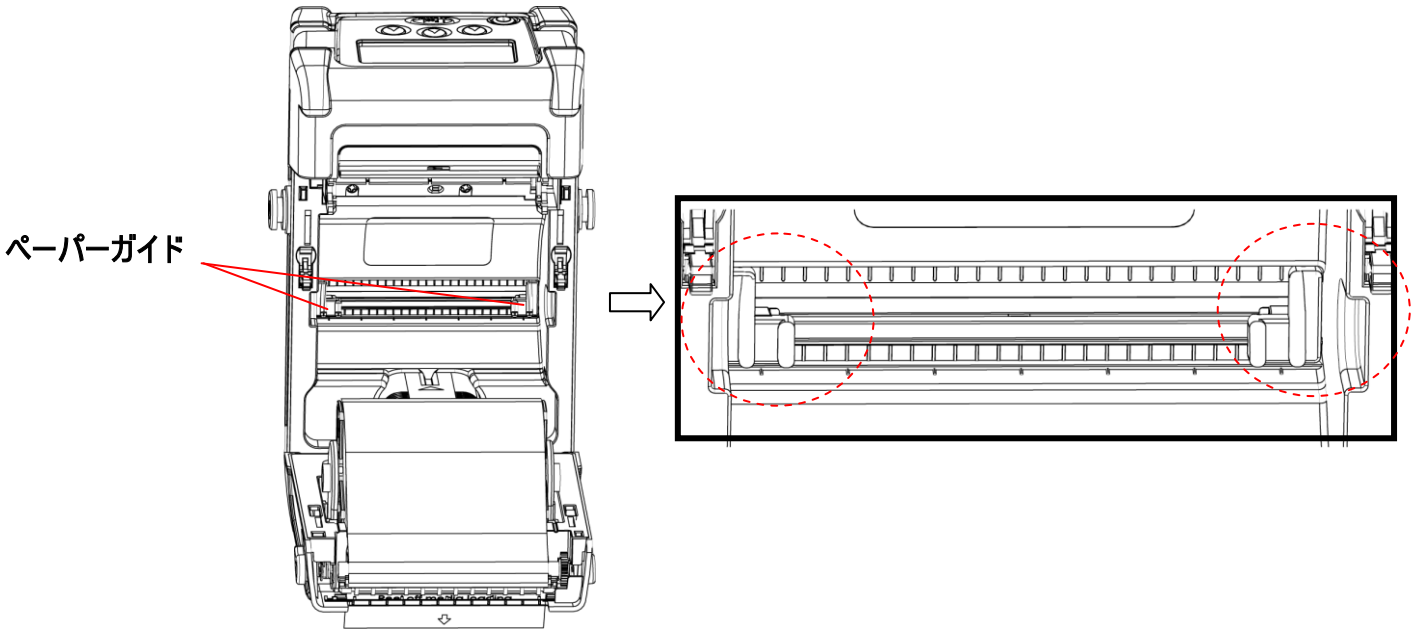
2. サプライホルダータブを引き、3 インチのペーパーコアを挿入し、サプライホルダーを大きく開く。



3. ファンフォールドペーパーをファンフォールドペーパー入口シュートに挿入し、ペーパー出口シュートの上に通す。



4. 紙の幅に合わせ、滑り込ませ、ペーパーガイドを調整する。



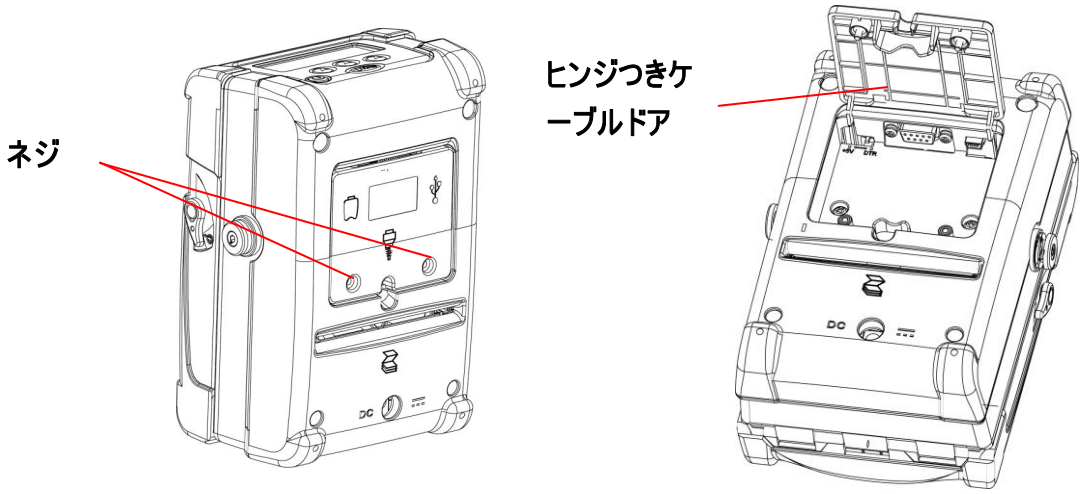
5. サプライドアを閉める。

6. 必要に応じて、メディアを補正する。

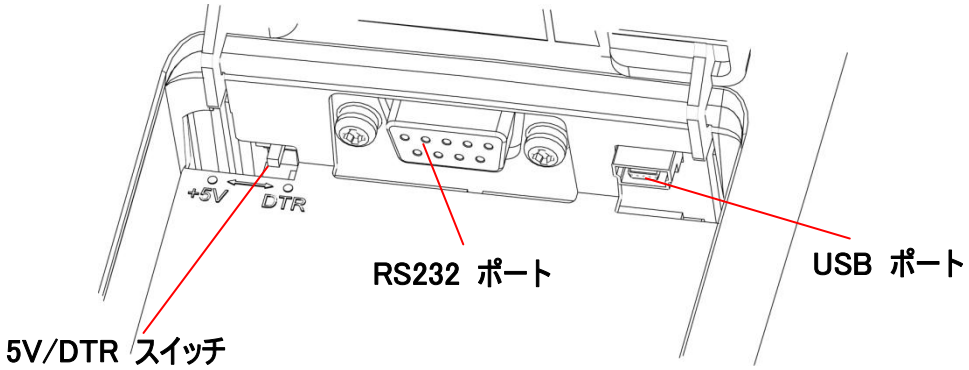
注： メディアを変更する際には、ギャップ／ブラックマークセンサーを補正してください。

2.4 通信ケーブルを接続する

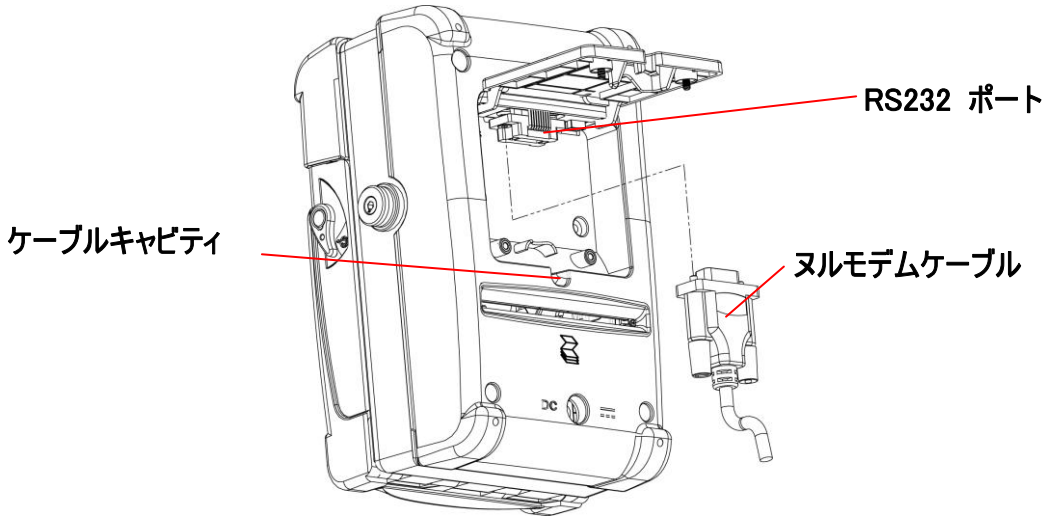
1. 2 つのネジを緩め、ヒンジのあるケーブルドアを開く。ドアを上に上げる。



2. ヌルモデムケーブルを RS232 ポートに差し込む。(または USB ケーブルを USB ポートに差し込む。)



3. ケーブルをケーブルキャビティに入れる。

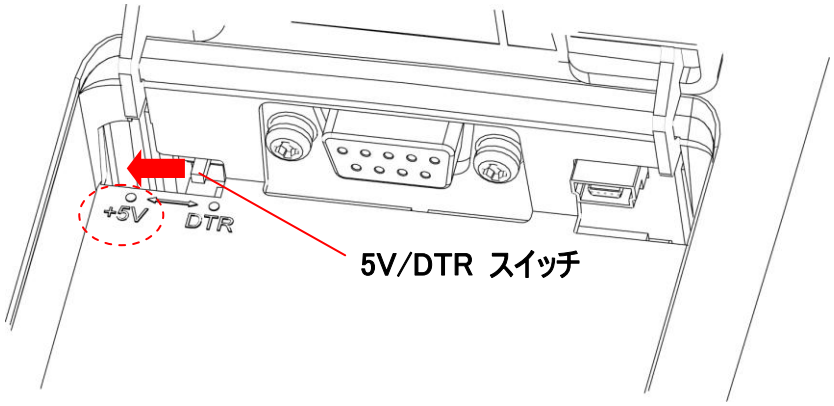


4. ヒンジのあるケーブルドアを閉じ、2 つのネジを締める。

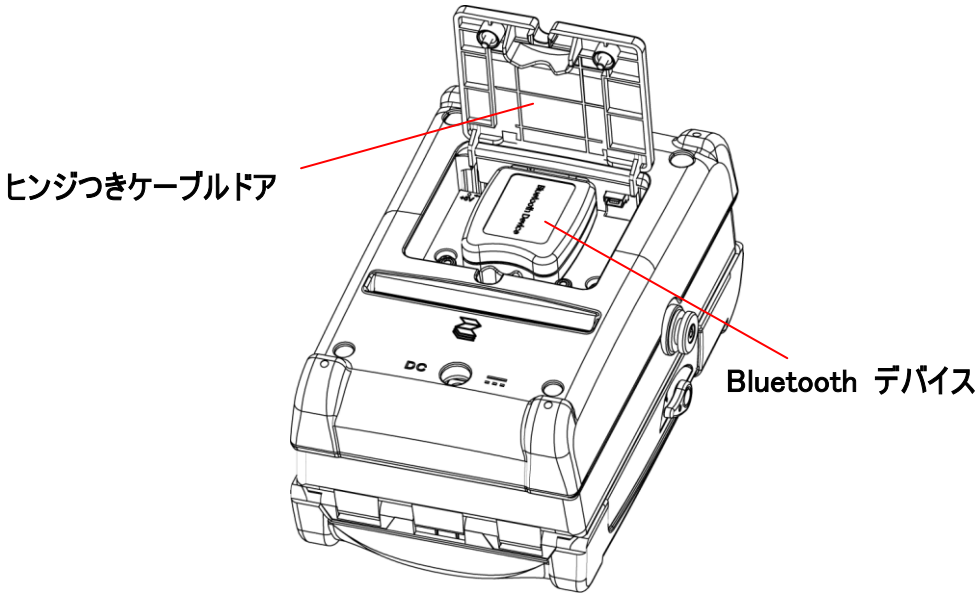
2.5 Bluetooth ワイヤレスを使用する（オプション）

1. 2 つのネジを緩め、ドアを持ち上げ、ヒンジのあるケーブルドアを開く。

2. +5V / DTR スイッチを +5V の位置に設定する。



3. Bluetooth ドングルを RS232 ポートに差し込む。

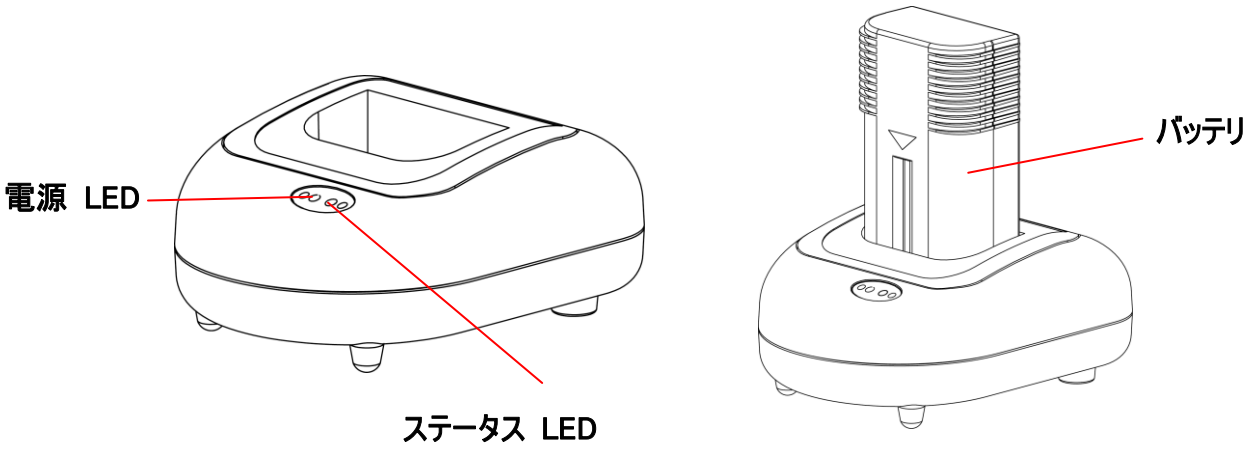


4. ヒンジのあるケーブルドアを閉じ、2 つのネジを締める。

5. 4.1 章を参照して、bluetooth を補正してください。

2.6 バッテリを充電する

1. プリンタのサプライドアを開け、バッテリを取り出す。
2. バッテリを充電器に入れる。



電源 LED	内容
赤	電源が入っている
オフ	電源が入っていない

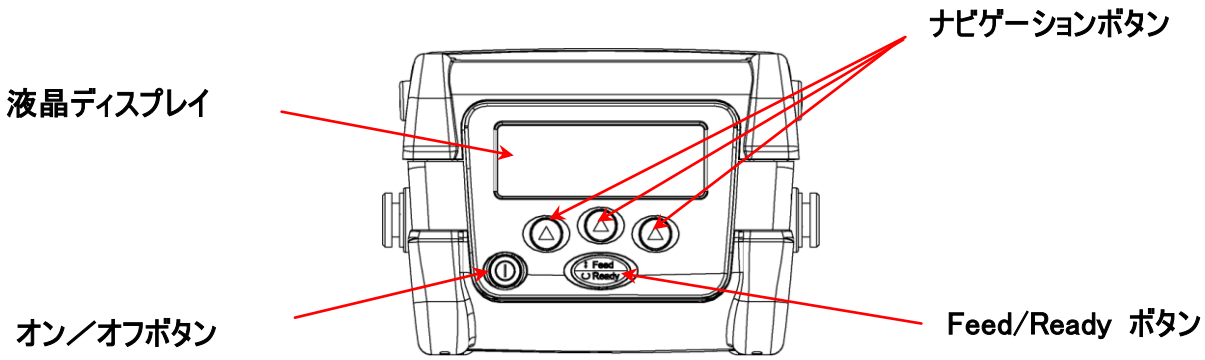
ステータス LED	内容
赤	バッテリ充電中
黄色	バッテリの充電が 70%完了
緑（点灯）	バッテリの充電が完了
緑（点滅）	充電エラー
オフ	バッテリなし

注：

1. 電源 LED が赤く点灯し、ステータス LED が緑色に点滅している場合は、バッテリを取り出し、充電器内部の端子が、異物によってショートしていないかどうか確認してください。充電器の電源アダプタをコンセントから抜き、「+」と「−」の端子の間の異物を取り除いてください。バッテリを充電器に入れ、もう 1 度充電してください。これでも解決しない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
2. 最初に使用する際に、バッテリを完全に充電するまで 2～3 時間かかります。 バッテリの寿命は、充電／再充電サイクルの 300 倍です。

3. ディスプレイとボタンを使用する

3.1 液晶ディスプレイとボタン

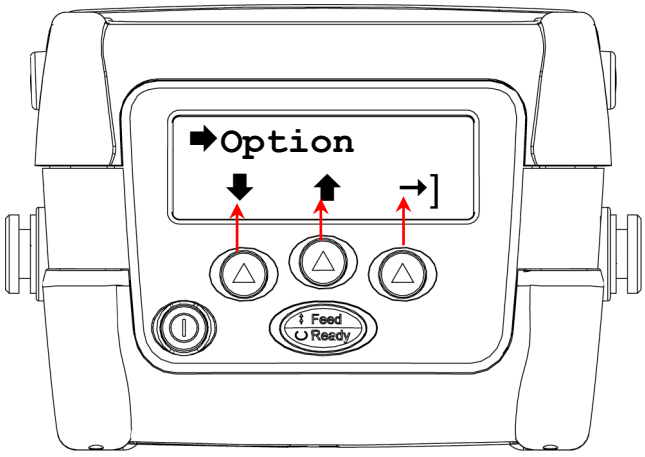


アイコン	内容
	プリンタの電源をオン／オフする。
	ラベルを進めるか、ディスプレイで前のメニューに戻る。
	ディスプレイでオプションを選ぶ 3 つのボタン。

3.2 液晶ディスプレイのアイコンの説明

アイコン	内容
	メニューに入る
→]	カーソルのある場所のオプションに入る
	上にスクロールする
	下にスクロールする
	カーソルの場所
＋	設定値を上げる
－	設定値を下げる
×	キャンセル
	OK／選択
↻	次の上のメニューにディスプレイを戻す。
II	一時停止し、バッテリ電圧を表示する

3.3 液晶／キーボードの操作



3.3.1 プリンタの電源をオン／オフする

ボタンを押して、プリンタの電源をオン／オフする。

3.3.2 矢印キー

- ⬇ 液晶アイコンの下の ボタンを押すと、メニューリストが下にスクロールする。
- ⬇ 液晶アイコンの下の ボタンを押すと、メニューリストが上にスクロールする。
- →] 液晶アイコンの下の ボタンを押すと、カーソルのある場所のオプションに入る。

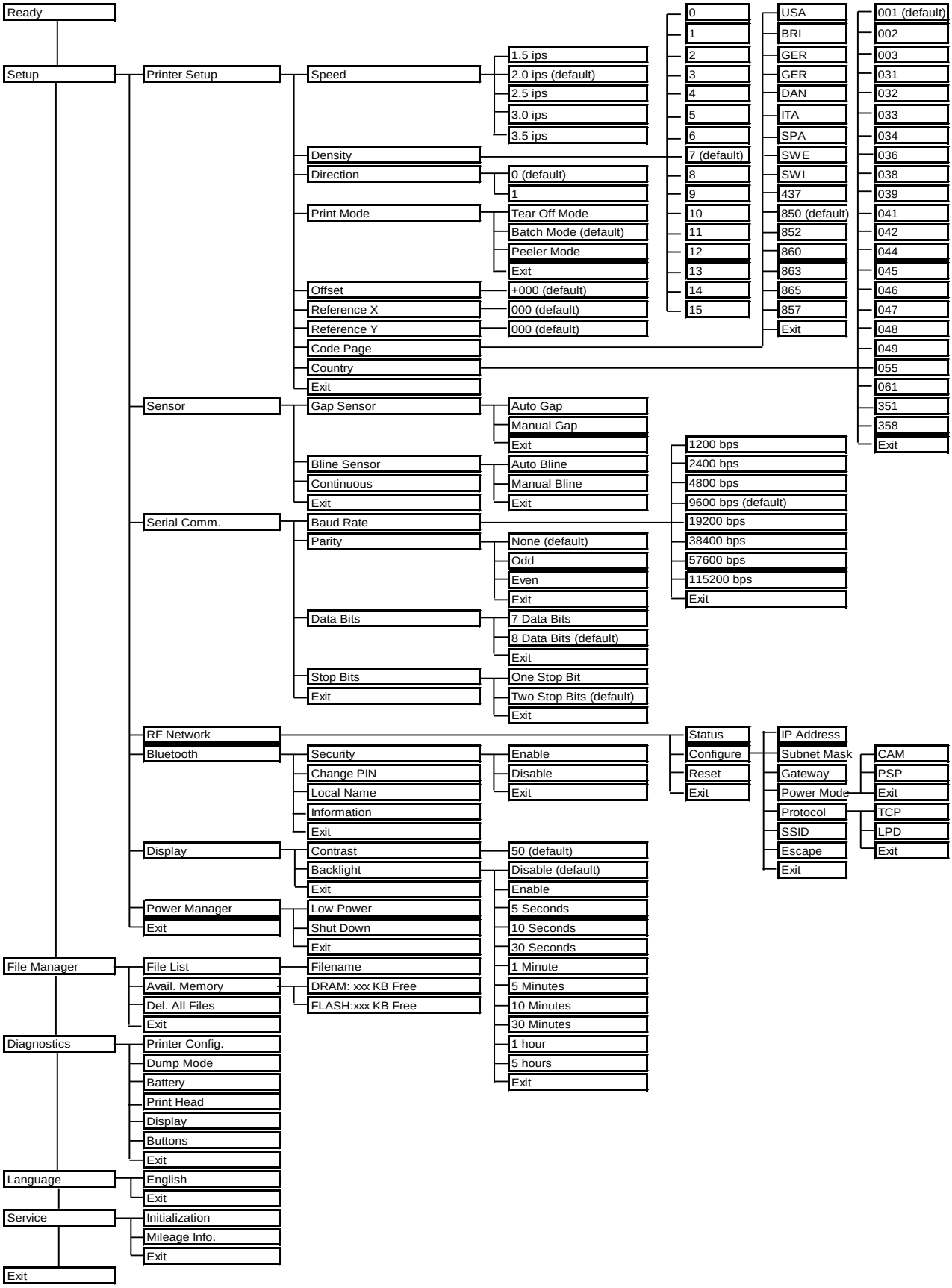
3.3.3 メニューを終了する

ボタンを押して、メニューを終了するか、設定をキャンセルし、次の上のメニューに戻る。
カーソル ➡ アイコンが［終了］にあるときに、ディスプレイの →] LCD アイコンの下の ボタンを押して、オプションを終了する。

3.3.4 エラー状態をキャンセルする

ボタンを押して、エラー状態をキャンセルし、プリンタを正常な状態に戻す。

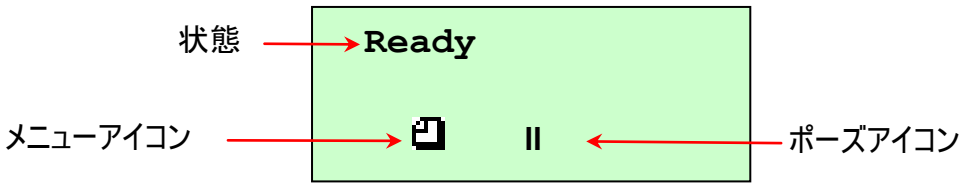
4. 液晶メニューの概要


Ready
Setup
Printer Setup
Speed
1.5 ips
2.0 ips (default)
2.5 ips
3.0 ips
3.5 ips
Density
0
1
2
3
4
5
6
7 (default)
8
9
10
11
12
13
14
15
Direction
0 (default)
1
Print Mode
Tear Off Mode
Batch Mode (default)
Peeler Mode
Exit
Offset
+000 (default)
Reference X
000 (default)
Reference Y
000 (default)
Code Page
Country
USA
BRI
GER
GER
DAN
ITA
SPA
SWE
SWI
437
850 (default)
852
860
863
865
857
Exit
001 (default)
002
003
031
032
033
034
036
038
039
041
042
044
045
046
047
048
049
055
061
351
358
Exit
Exit
Sensor
Gap Sensor
Auto Gap
Manual Gap
Exit
Bline Sensor
Auto Bline
Manual Bline
Exit
Continuous
Exit
Serial Comm.
Baud Rate
1200 bps
2400 bps
4800 bps
9600 bps (default)
19200 bps
38400 bps
57600 bps
115200 bps
Exit
Parity
None (default)
Odd
Even
Exit
Data Bits
7 Data Bits
8 Data Bits (default)
Exit
Stop Bits
One Stop Bit
Two Stop Bits (default)
Exit
Exit
RF Network
Status
Bluetooth
Security
Enable
Disable
Exit
Change PIN
Local Name
Information
Exit
Configure
IP Address
Subnet Mask
Gateway
Power Mode
Protocol
SSID
Escape
Exit
CAM
PSP
Exit
TCP
LPD
Exit
Reset
Exit
Display
Contrast
50 (default)
Backlight
Disable (default)
Enable
Exit
Power Manager
Low Power
5 Seconds
Shut Down
10 Seconds
Exit
30 Seconds
Exit
1 Minute
5 Minutes
10 Minutes
30 Minutes
1 hour
5 hours
Exit
File Manager
File List
Filename
Avail. Memory
DRAM: xxx KB Free
Del. All Files
FLASH:xxx KB Free
Exit
Diagnostics
Printer Config.
Dump Mode
Battery
Print Head
Display
Buttons
Exit
Language
English
Exit
Service
Initialization
Mileage Info.
Exit
Exit

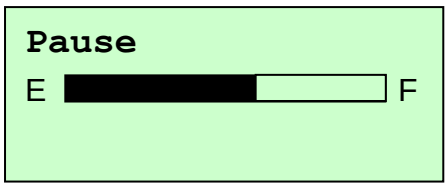
メインメニュー

Setup	-	File Manager	-	Diagnostics	-	Language	-	Service	-	Exit

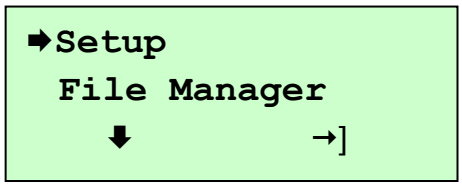
1. ディスプレイが点くまで ⏻ ボタンを押し続け、プリンタの電源を入れる。
   ディスプレイにプリンタのバージョン、バッテリ電圧ゲージが表示され、その後に次の内容が表示される。



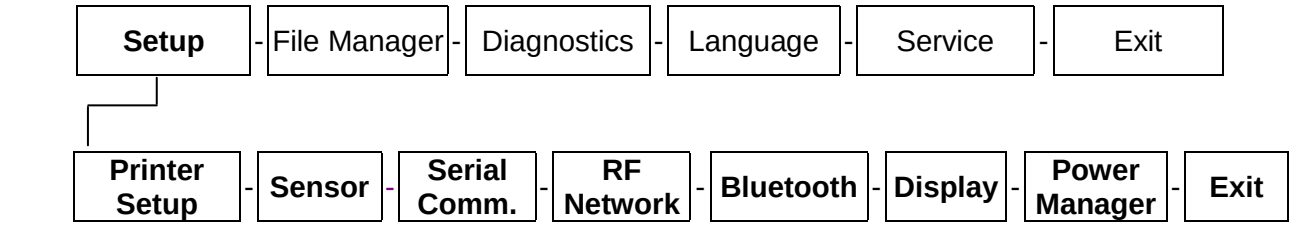
注：準備完了状態で II アイコンを押すと、バッテリ電圧ゲージを確認することができます。（同じボタンを押すと、準備完了状態に戻ります。）



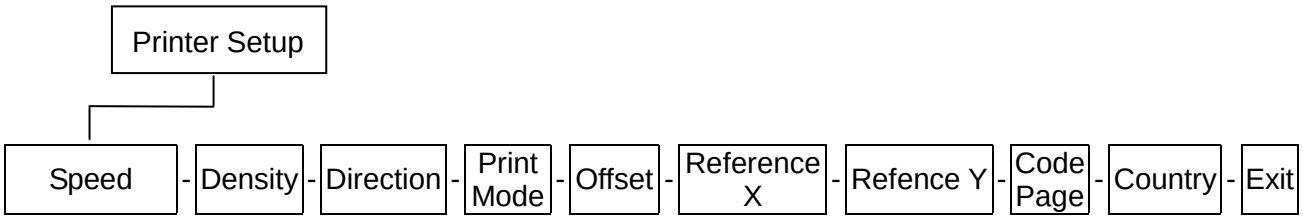
2. ⏎ アイコンの下の △ ボタンを押して、メインメニューに入る。



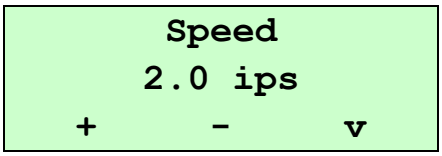
4.1 Setup (設定)



4.1.1 Printer Setup (プリンタの設定)



4.1.1.1 Speed (速度) :

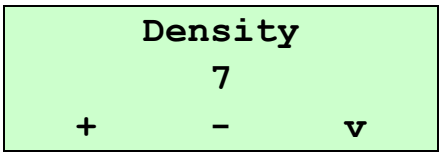


このオプションを使用し、印字速度を設定します。1.5～3.5 ips の間の印字速度が利用でき、0.5 ips で加減できます。デフォルトの印字速度は 2.0 ips (50mm/秒)です
[+] アイコンの下の ◁ ボタンを押すと印字速度が上がり、[–] アイコンでは下がり、[V] アイコンでそれをプリンタに設定します。

注:

1. メディア幅、ラベル印字内容、濃度設定、バッテリ電圧が、印字速度に影響します。プリンタは、印字品質を最適化するために、自動的に印字速度を調整します。
2. ピールオフモードでは、印字速度は自動的に 1.5 ips に設定されます。

4.1.1.2 Density (濃度) :



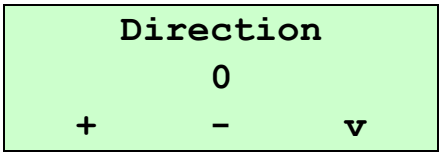
このオプションを使用し、印字の濃さを設定します。0～15 の設定があり、目盛は 1 です。プリンタのデフォルトの濃度は 7 です。選んだメディアに基づき、濃度を調整しなければならない場合があります。

[+] / [–] アイコンの下の ◬ ボタンを押して、印字濃度を加減します。[V] アイコンの下のボタンを押して、設定を有効にします。

注:

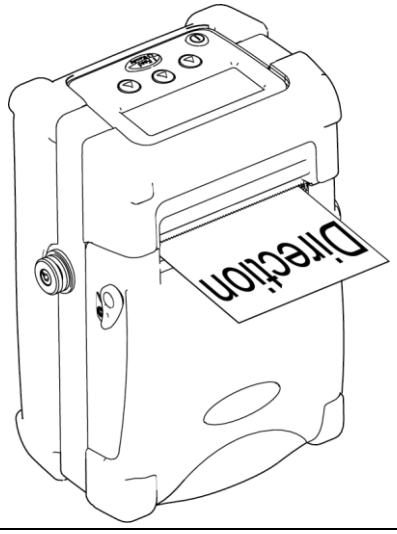
濃度の設定は印字速度に影響を及ぼします。プリンタは、印字品質を最適化するために、自動的に印字速度を調整します。

4.1.1.3 Direction (方向) :

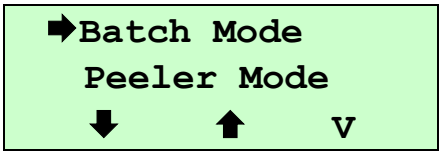


方向の設定値は、1 か 0 のどちらかです。このオプションを使用して、印字の方向を設定します。プリンタのデフォルトの印字方向は、DIRECTION 0 です。

[+] アイコンの下の ◬ ボタンを押すと方向が 1 になり、[–] アイコンでは 0 に設定され、[V] アイコンで設定を有効にします。次の 2 つの図は、DIRECTION 0 と DIRECTION 1 の印字の参照例です。

DIRECTION 0	DIRECTION 1
	

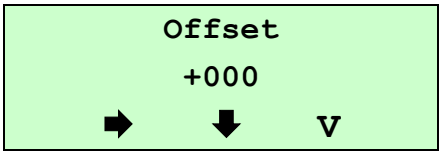
4.1.1.4 Print Mode (印字モード) : (Tear Off Mode (切り取りモード)/Batch Mode (バッチモード)/Peeler Mode(ピーラーモード))



このオプションは、印字モードを設定するのに用いられます。プリンタのデフォルト設定は、バッチモードです。この一覧では、➡ アイコンの右側の印字モードが、プリンタの現在の設定です。⬇ と ⬆ のアイコンの下の △ ボタンを押して異なる印字モードを選び、[V] アイコンの下の △ ボタンを押して、設定を有効にします。

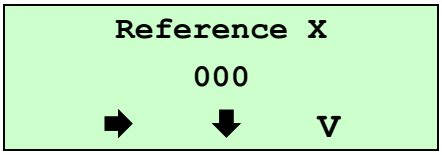
プリンタモード	内容
切り取りモード：	次のラベルの最初の先端が印字ヘッドのバーンラインの位置になる。
バッチモード：	画像の印字が完了すると、切り取りのため、ラベルのギャップ／ブラックマークが切り取りプレートの位置になる。
ピーラーモード：	ラベルのピールオフモードを有効にする。

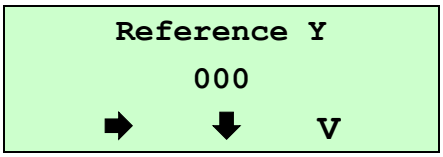
4.1.1.5 Offset (オフセット) :



このオプションは、メディアの停止位置を微調整するのに用いられます。➡ アイコンの下の △ ボタンを押してカーソルを左の桁から右の桁に移動させ、△ ボタンを押して、[+] から [–] または [0] から [9] の値に設定します。[V] アイコンの下の △ ボタンを押して、プリンタに値を設定します。デフォルト値は+000 です。

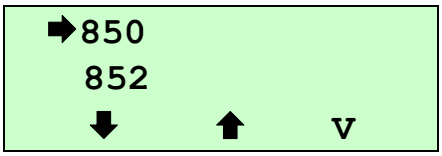
4.1.1.6 Reference X & Reference Y (基準 X と 基準 Y) :





このオプションは、プリンタの座標システムを水平方向及び垂直方向に設定するのに用いられます。➡ アイコンの下の △ ボタンを押してカーソルを左の桁から右の桁に移動させ、⬇ アイコンの下の △ ボタンを押して、[0] から [9] の値に設定します。[V] の下の △ ボタンを押して、プリンタに値を設定します。デフォルト値は 000 です。

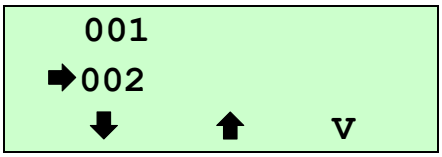
4.1.1.7 Code Page (コードページ) :



このオプションを使用して、国際文字セットのコードページを設定します。コードページの詳細については、プログラミング・マニュアルを参照してください。
コードページ一覧では、➡ アイコンの右側のコードページが、プリンタの現在の設定です。
⬇ と ⬆ のアイコンの下の △ ボタンを押してコードページを選び、[V] アイコンの下の △ ボタンを押して、設定を有効にします。

7 ビット		8 ビット	
コードページ名	国際文字セット	コードページ番号	国際文字セット
USA	米国	437	アメリカ合衆国
BRI	イギリス	850	多国語
GER	ドイツ語	852	スラブ語
FRE	フランス語	860	ポルトガル
DAN	デンマーク語	863	カナダフランス語
ITA	イタリア語	865	北欧語
SPA	スペイン語		
SWE	スウェーデン語		
SWI	スイス		

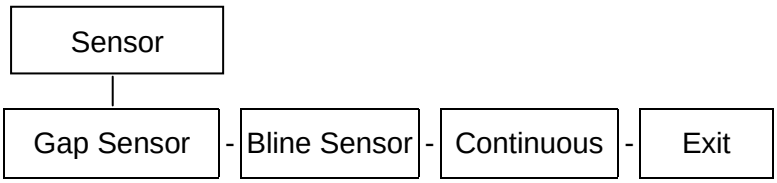
4.1.1.8 Country (国) :



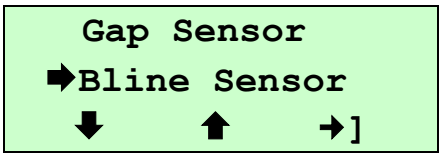
このオプションを使用して、液晶ディスプレイの国コードを設定します。⬇ と ⬆ のアイコンの下の △ ボタンを押して国コードを選び、[V] アイコンの下の △ ボタンを押して、プリンタに値を設定します。この一覧では、➡ アイコンの右側の国コードが、プリンタの現在の設定です。

コード	国	コード	国	コード	国	コード	国
001	米国	034	スペイン （スペイン語）	044	イギリス	055	ブラジル
002	カナダフランス語	036	ハンガリー語	045	デンマーク語	061	英語（国際）
003	スペイン語 （ラテンアメリカ）	038	ユーゴスラビア	046	スウェーデン語	351	ポルトガル
031	オランダ語	039	イタリア語	047	ノルウェー語	358	フィンランド語
032	ベルギー	041	スイス	048	ポーランド		
033	フランス語（フランス）	042	スロバキア語	049	ドイツ語		

4.1.2 Sensor (センサー)

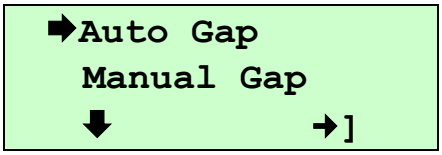


このオプションは、メディアセンサーのタイプを設定し、選んだセンサーを補正するのに用いられます。メディアを変更した際には、印字の前にセンサーを補正することを推奨します。



このオプションでは、➡ アイコンの右側のセンサータイプが、プリンタの現在の設定です。
⬇ と ⬆ のアイコンの下の △ ボタンを押してセンサータイプを選び、[➜]］アイコンの下の △ ボタンを押して、センサー検出モードに入ります。

4.1.2.1 Gap sensor (ギャップセンサー) :



⬇ と ⬆ のアイコンの下の △ ボタンを押してセンサー検出モードを選び、➜] アイコンの下の △ ボタンを押して、センサーの強さを検出します。

4.1.2.2.1 Auto Gap (自動ギャップ) :

［自動ギャップ］オプションに入ると、次のメッセージが表示されます。
通常、このオプションを使用してセンサーの感度を補正します。

```
Insert liner ...
Then hit Enter
              V
```

ギャップセンサーの間に台紙を挿入し、[V] アイコンの下の ◎ ボタンを押して、センサーの補正を開始します。

注：ギャップのシースルータイプのセンサーの間に、台紙だけが置かれていることを確認してください。

```
  GAP Calibrate
       50
 +     -     V
```

[+] と [–] のアイコンの下の ◎ ボタンを押してストック AD 値を加減し、[V] アイコンの下の ◎ ボタンを押して、センサーの感度を検出します。

```
Calibrating ...
Stock AD = 256
```

液晶ディスプレイに “SUCCESSFUL” [成功] と表示されたら、[↻] の下の ◎ ボタンを押し、前のページに戻ります。

```
   SUCCESSFUL
 Stock AD = 50
              ↻
```

液晶ディスプレイに “FAILED” [失敗] と表示されたら、シースルータイプのギャップセンサーの間に、台紙だけが置かれていることを確認してください。

```
     FAILED
 Stock AD = 135
              ↻
```

次の手順でもう 1 度センサーの感度を補正してください。

1. [↻] アイコンの下の ◎ ボタンを押して、“Gap Sensor” [ギャップセンサー] メニューに戻る。
2. [→]] アイコンの下の ◎ ボタンを押して、[自動ギャップ] メニューに入る。

3. シースルータイプのギャップセンサーの間に台紙を挿入した後、[V] アイコンの下の ◎ ボタンを押して、継続する。
4. [+] アイコンの下の ◎ ボタンを押して、ストック AD 値を 50 ずつ増加する。
   [V] アイコンの下の ◎ ボタンを押して、センサーの感度を補正する。

```
GAP Calibrate
     185
 +     -     V
```

4.1.2.1.2 Manual Gap (手動ギャップ) :

自動ギャップのセンサー補正をメディアに適用できない場合は手動ギャップ機能を使用して、手動でセンサーを補正してください。この機能は、センサーの感度を微調整するのに用いることができます。[手動ギャップ] オプションに入ると、次のメッセージが表示されます。

```
Gap Sensor
Stock AD = 50
Intension = 140
   +     -     V
```

台紙のストック AD

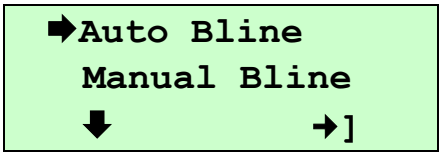
```
Gap Sensor
Stock AD = 163
Intension = 140
   +     -     V
```

紙のストック AD

[+] と [–] のアイコンの下の ◎ ボタンを押してセンサーの強度を加減し、[V] アイコンの下の ◎ ボタンを押して、プリンタに値を設定します。

センサーの感度を手動で調整する場合、各センサーの強度について、台紙と紙に異なるストック AD を設定できます。プリンタにラベルの位置を正確に登録するには、この 2 つの値の差は 50 レベル以上である必要があります。

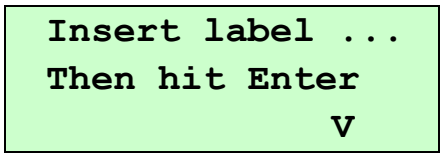
4.1.2.2 Black Sensor (ブラックセンサー) :



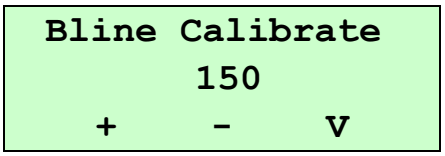
⬇ と ⬆ のアイコンの下の ◬ ボタンを押してセンサー補正モードを選び、[➜]] アイコンの下の ◬ ボタンを押して、センサー補正を開始します。

4.1.2.2.1 Auto Bline (自動 Bline) :

[自動 Bline] オプションに入ると、次のメッセージが表示されます。
通常、自動 Bline を使用してセンサーの感度を補正します。



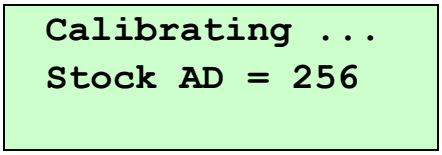
ブラックマークセンサーにラベルを挿入し、[V] アイコンの下の ◬ ボタンを押して、センサーの補正を開始します。

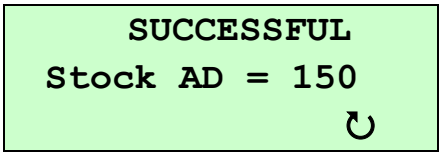


注:

センサーが正しく補正されなくなるので、ブラックマークを補正する際には、ブラックマークをブラックマークセンサーの位置に合わせないでください。

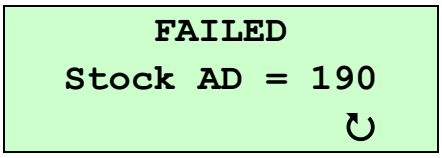
[+] と [–] のアイコンの下の ◬ ボタンを押してストック AD 値を加減し、[V] アイコンの下の ◬ ボタンを押して、センサーを補正します。





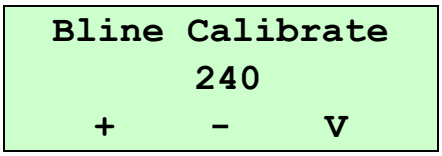
センサーの補正がうまくいったら、[↻] アイコンの下の ◬ ボタンを押し、前のページに戻ります。

液晶ディスプレイに “FAILED” [失敗] と表示されたら、ブラックマークセンサーに、紙(ブラックマークがない)だけが置かれていることを確認してください。



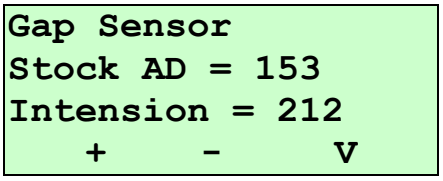
確認できたら、次の手順でもう 1 度センサーの感度を補正してください。

1. [↻] アイコンの下の ◎ ボタンを押して、[Bline センサー] メニューに戻る。
2. [➔] アイコンの下の ◎ ボタンを押して、[自動 Bline] メニューに入る。
3. ブラックマークセンサーに紙を挿入した後、[V] アイコンの下の ◎ ボタンを押して、継続する。
4. [+] アイコンの下の ◎ ボタンを押してストック AD 値を 50 ずつ上げ、[V] アイコンの下の ◎ ボタンを押して、センサーの感度を補正する。

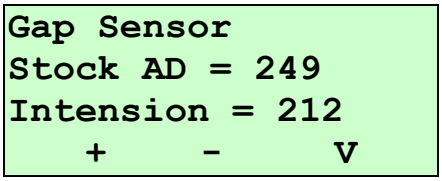


4.1.2.2.2 Manual Bline (手動 Bline) :

自動 Bline センサー補正がうまくいった場合、手動でセンサーを補正する必要はありません。この機能は、センサーの感度を微調整するのに用いられます。[手動 Bline] オプションに入ると、次のメッセージが表示されます。



ラベルのストック AD

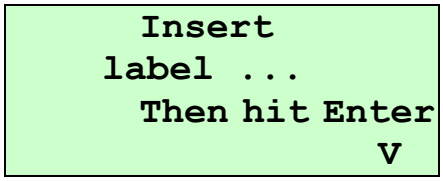


ブラックのストック AD

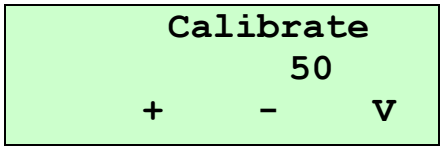
[+] と [−] のアイコンの下の ◎ ボタンを押してセンサーの強度を加減し、[V] アイコンの下の ◎ ボタンを押して、プリンタに値を設定します。
センサーの感度を手動で調整する場合、各センサーの強度について、ブラックマークと紙に異なるストック AD を設定できます。プリンタにラベルを正確に登録するには、この 2 つの値の差は 50 レベル以上である必要があります。

4.1.2.3 Continuous (連続) :

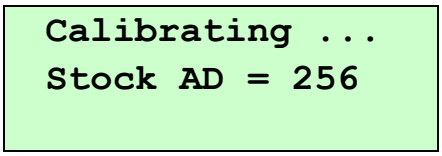
［連続］オプションに入ると、次のメッセージが表示されます。

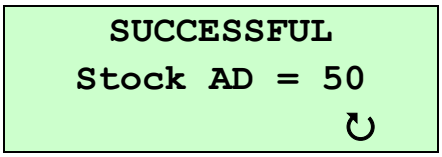


ギャップセンサーの間にメディアを挿入し、[V] アイコンの下の ◎ ボタンを押して、センサーの補正を開始します。



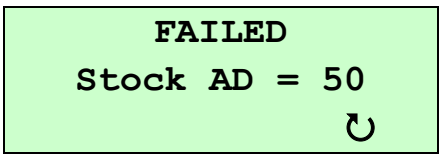
[+] と [−] のアイコンの下の ◎ ボタンを押してストック AD 値を加減し、[V] アイコンの下の ◎ ボタンを押して、センサーの感度を検出します。





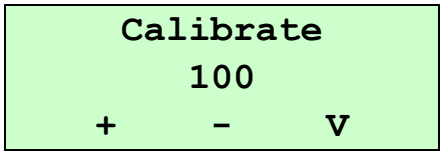
［↻］アイコンの下の ◎ ボタンを押して、次の上のメニューに戻ります。

液晶ディスプレイに “FAILED”［失敗］と表示されたら、シースルータイプのギャップセンサーの間に、メディアが置かれていることを確認してください。

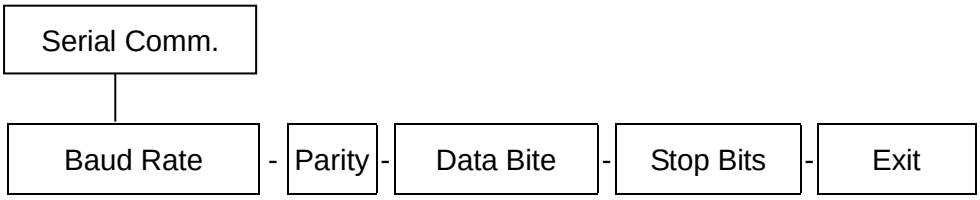


確認できたら、次の手順でもう 1 度センサーの感度を補正してください。

1. [↻] アイコンの下の ◎ ボタンを押して、“Sensor”［センサー］メニューに戻る。
2. [→]] アイコンの下の ◎ ボタンを押して、“Continuous”［連続］メニューに入る。
3. シースルータイプのギャップセンサーの間に台紙を挿入した後、[V] アイコンの下の ◎ ボタンを押して、継続する。
4. [+] アイコンの下の ◎ ボタンを押して、ストック AD 値を 50 ずつ増加する。［V］アイコンの下の ◎ ボタンを押して、センサーの感度を補正する。

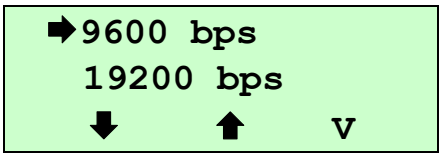


4.1.3 Serial Comm. (シリアル通信)



オプション	パラメータ	初期設定
ボーレート	1200 bps/ 2400 bps/ 4800 bps/ 9600 bps / 19200 bps/ 38400 bps/ 57600 bps/ 115200 bps	9600 bps
パリティ	なし／偶数／奇数	なし
データビット	7 データビット／8 データビット	8 データビット
ストップビット	1 ストップビット／2 ストップビット	1 ストップビット

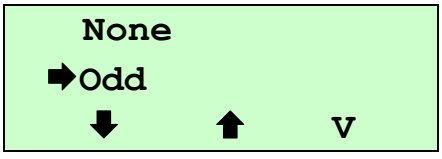
4.1.3.1 Baud Rate (ボーレート) :



このオプションは、RS-232 のボーレートを設定するのに用いられ、デフォルト設定は 9600 bps です。

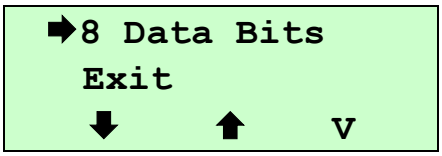
⬇ と ⬆ のアイコンの下の △ ボタンを押して異なるボーレートを選び、[V] アイコンの下の △ ボタンを押して、プリンタに値を設定します。この一覧では、➡ アイコンの右側のボーレート値が、プリンタの現在の設定です。

4.1.3.2 Parity (パリティ) :



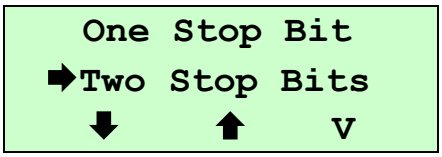
このオプションは、RS-232 のパリティを設定するのに用いられます。デフォルト値は［なし］です。⬇ と ⬆ のアイコンの下の ⓐ ボタンを押して異なるパリティを選び、[V] アイコンの下の ⓐ ボタンを押して、プリンタに値を設定します。この一覧では、➡ の右側のパリティが、プリンタの現在の設定です。

4.1.3.3 Data Bits (データビット) :



このオプションは、 RS-232 のデータビットの設定に用いられ、デフォルト設定は 8 です。⬇ と ⬆ のアイコンの下の ⓐ ボタンを押して異なるデータビットを選び、[V] アイコンの下の ⓐ ボタンを押して、プリンタに値を設定します。この一覧では、➡ アイコンの右側のデータビットが、プリンタの現在の設定です。

4.1.3.4 Stop Bits (ストップビット) :



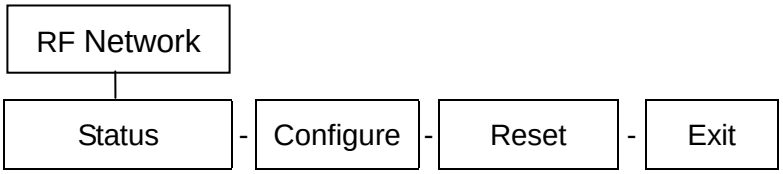
このオプションは、RS-232 のストップビットを設定するのに用いられます。デフォルト設定は 1 です。⬇ と ⬆ のアイコンの下の ⓐ ボタンを押して異なるストップビットを選び、[V] アイコンの下の ⓐ ボタンを押して、プリンタに値を設定します。この一覧では、➡ アイコンの右側のオプションが、プリンタの現在の設定です。

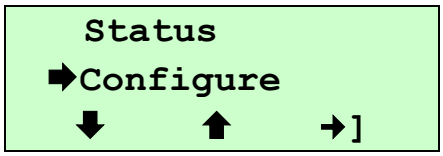
4.1.4 RF Network (RF ネットワーク) (オプション)

このオプションを使用して、オプションの 802.11b WiFi の構成を設定します。プリンタの WiFi モジュールの状態を確認しながら、RF ネットワーク設定を設定し、WiFi モジュールをリセットします。

注:

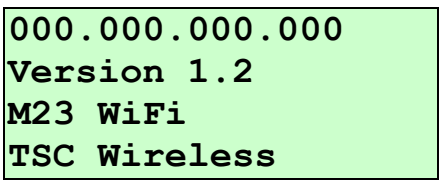
WiFi モジュールを使用する前に、RS-232 ボーレートを 19200 bps に設定してください。



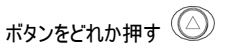


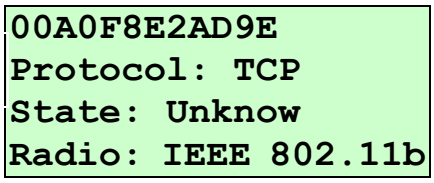
⬇ と ⬆ のアイコンの下の ◎ ボタンを押して異なるオプションを選び、[➜]] アイコンの下の ◎ ボタンを押して、オプションに入ります。

4.1.4.1 Status (ステータス) : (ステータスを確認する)



WiFi モジュールのローカル IP アドレス、ファームウェアバージョン、プリンタモード、基板バージョン、デバイス名が表示されます。

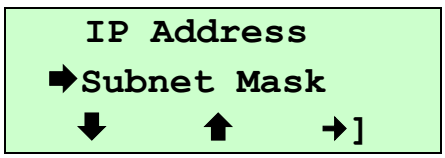




MAC アドレス、プロトコル、現在のステータス、無線タイプが表示されます。◎ ボタンをどれか押して、RF ネットワークメニューに戻ります。

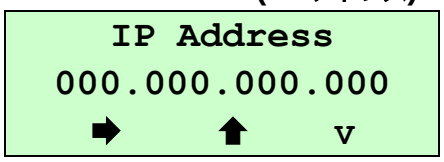
4.1.4.2 Configure (構成) :

このメニューを使用して、プリンタの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、電源モード、プロトコル、SSID、エスケープ文字を設定します。



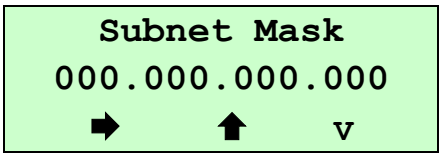
⬇ と ⬆ のアイコンの下の ◬ ボタンを押して異なるオプションを選び、[➜]] アイコンの下の ◬ ボタンを押して、オプションに入ります。

4.1.4.2.1 IP Address (IP アドレス)



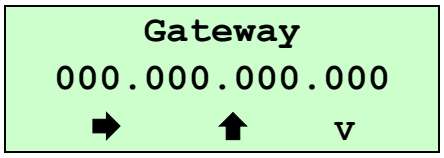
➡ アイコンの下の ◬ ボタンを押してカーソルを左の桁から右の桁に移動させ、◬ ボタンを押して、[0] から [9] の値に設定します。[V] アイコンの下の ◬ ボタンを押して設定を保存し、構成メニューに戻ります。

4.1.4.2.2 Subnet Mask (サブネットマスク)



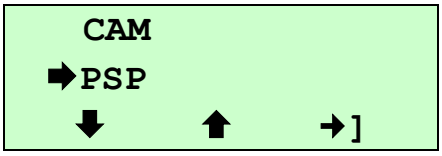
➡ アイコンの下の ◬ ボタンを押してカーソルを左の桁から右の桁に移動させ、◬ ボタンを押して、[0] から [9] の値に設定します。[V] アイコンの下の ◬ ボタンを押して設定を保存し、構成メニューに戻ります。

4.1.4.2.3 Gateway (ゲートウェイ)



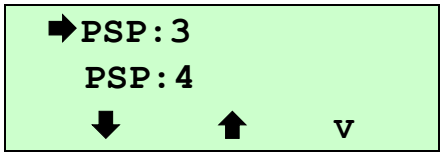
➡ アイコンの下の ◬ ボタンを押してカーソルを左の桁から右の桁に移動させ、◬ ボタンを押して、[0] から [9] の値に設定します。[V] アイコンの下の ◬ ボタンを押して設定を保存し、構成メニューに戻ります。

4.1.4.2.4 Power Mode (電源モード)



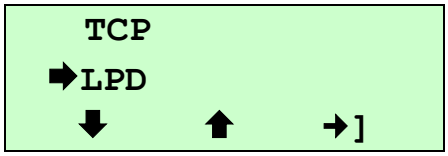
⬇ と ⬆ のアイコンの下の ◬ ボタンを押して異なるモードを選び、[➜]] アイコンの下の ◬ ボタンを押して、設定します。CAM とは、常時起動モードのことです。PSP とは、節電プロトコルのことです。PSP はバッテリの電源を節約します。CAM では、プリンタがデータを常に送受信します。このモードでは、バッテリの電源が早く消耗されます。PSP を選ぶと、PSP 1～5 のアルゴリズムを入力するよう要求されます。

1は、最短のスリープ時間（バッテリの電源を早く消耗するが、応答は速い）で、5は長めのスリープ時間（バッテリの節約には最適であるが、応答は遅い）です。

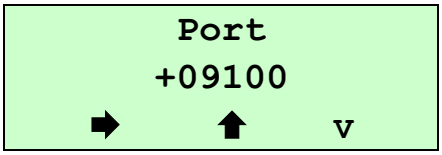


⬇ と ⬆ のアイコンの下の ◎ ボタンを押して異なるモードを選び、[v] アイコンの下の ◎ ボタンを押して、設定します。

4.1.4.2.5 Protocol (プロトコル)

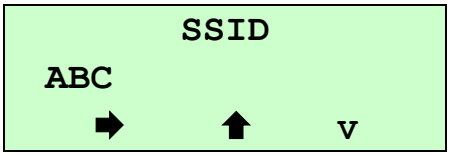


⬇ と ⬆ のアイコンの下の ◎ ボタンを押して異なるモードを選び、[➜]] アイコンの下の ◎ ボタンを押して、設定します。TCP を選んだ場合、未処理のプリンタポートのポート番号を特定する必要があります。



➡ アイコンの下の ◎ ボタンを押してカーソルを左の桁から右の桁に移動させ、◎ ボタンを押して、[+] から [–] と [0] から [9] の値に設定します。[V] アイコンの下の ◎ ボタンを押して設定を保存し、TCP メニューに戻ります。

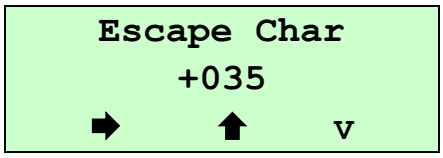
4.1.4.2.6 SSID



このオプションを使用して、SSID を設定します。SSID では、大文字と小文字が区別されます。

➡ アイコンの下の ◎ ボタンを押してカーソルを左のスペースから右のスペースに移動させ、⬆ アイコンの下の ◎ ボタンを押して、値を設定します。[V] アイコンの下の ◎ ボタンを押して設定を保存し、構成メニューに戻ります。

4.1.4.2.7 Escape Char (エスケープ文字)

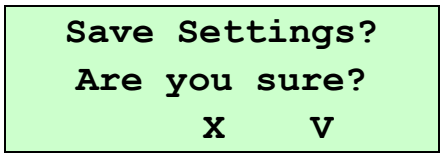


このオプションを使用して、コマンドエスケープ文字（CEC）を設定または表示します。無線の実行時のメッセージは CEC で始まり、デフォルトはポンドマーク（#）で、035 の 10 進数の値をもっています。他のデータと衝突する場合、予想外の動作が発生する場合があるため、デフォルトの CEC を変更しなければならない場合があります。範囲は 1～255 の 10 進数です。

➡ アイコンの下の ◎ ボタンを押してカーソルを左の桁から右の桁に移動させ、◎ ボタンを押して、値を設定します。[V] アイコンの下の ◎ ボタンを押して設定を保存し、構成メニューに戻ります。

4.1.4.2.8 Exit (終了)

設定後、“Exit”［終了］を選ぶと、次の画面が表示されます。

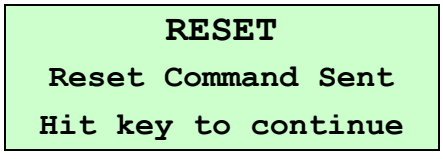


すべての構成設定を保存するには、[V] アイコンの下の ◎ ボタンを押します。構成設定を保存せずに終了するには、[X] アイコンの下の ◎ ボタンを押します。

4.1.4.3 Reset (リセット) :

構成を保存した後、変更を有効にするには、802.11b WiFi モジュールをリセットしてください。このオプションは、電源を切り、入れ直すことによって、ワイヤレス印字サーバをリセットするのに用いられます。

現在の接続とアプリケーションが失われる可能性があります。ネットワークをリセットしてからワイヤレス印字サーバ（無線）にアクセスするまでに、最大 1 分の時間が必要な場合があります。



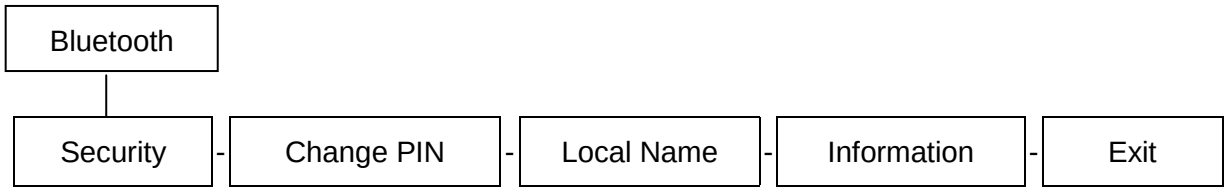
◎ ボタンをどれか押して、RF ネットワークメニューに戻ります。これで RF ネットワークプリンタを使用することができます。

4.1.5 Bluetooth (オプション)

このメニューを使用して、Bluetooth セキュリティを有効または無効にし、PIN を変更し、ローカル名の変更し、Bluetooth 情報を表示します。詳細については、2.5 章と 5.2 章を参照して下さい。

注:

Bluetooth ドングルを使用する前に、RS-232 ボーレートを 115200 bps に設定してください。

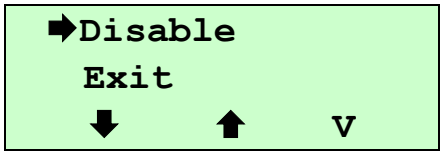


次のデフォルトが、Bluetooth プリンタに設定されています。

機能	初期設定
セキュリティ	無効
PIN	0000
ローカル名	BT23

4.1.5.1 Security (セキュリティ) :

このオプションを使用し、Bluetooth セキュリティを有効または無効にします。

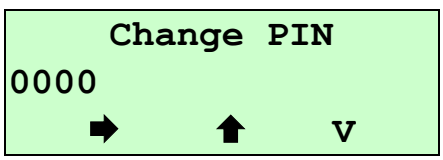


⬇ と ⬆ のアイコンの下の △ボタンを押して異なるモードを選び、[v] アイコンの下の △ ボタンを押して、設定します。セキュリティを有効にした場合、PIN の設定が必要になります。詳細については、“Change PIN” [PIN を変更する] を参照してください。

4.1.5.2 Change PIN (PIN を変更する**) :**

このオプションを使用して、Bluetooth PIN を設定します。PIN は最大 15 文字にすることができます。0～9. 値をスクロールしているときにスペースの文字が表示されますが、PIN にスペースを含むことはできません。

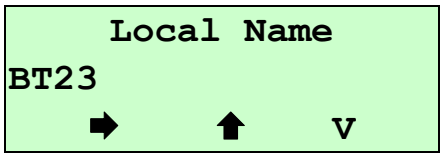
セキュリティを有効にした場合、PIN の設定が必要になります。セキュリティを無効にした場合、PIN の設定は必要ありません。



➡ アイコンの下の ⓐ ボタンを押してカーソルを左の桁から右の桁に移動させ、ⓐ ボタンを押して、値を設定します。[V] アイコンの下の ⓐ ボタンを押して、設定を保存します。

4.1.5.3 Local Name (ローカル名) :

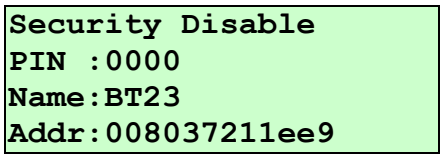
このオプションを使用して、Bluetooth のローカル名を表示し設定します。ローカル名はホストからの識別のために使用されるものであり、認証のためのものではありません。



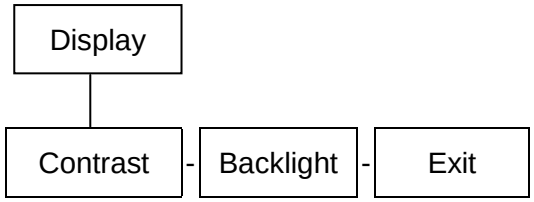
➡ アイコンの下の ⓐ ボタンを押してカーソルを左の桁から右の桁に移動させ、ⓐ ボタンを押して、値を設定します。[V] アイコンの下の ⓐ ボタンを押して、設定を保存します。

4.1.5.4 Information (情報) :

このオプションを使用して、Bluetooth の情報を表示します。ⓐ ボタンをどれか押して、Bluetooth メニューに戻ります。

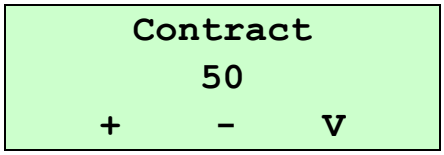


4.1.6 Display (ディスプレイ)



4.1.6.1 Contrast (コントラスト) :

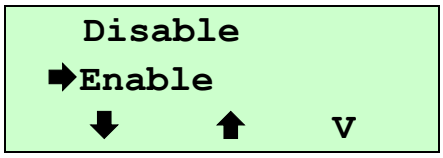
液晶ディスプレイのコントラストを調整します。調整幅は 0～100 です。コントラストは見る角度によっても変わります。プリンタのデフォルト設定は、50 です。



[+] アイコンで ⓐ ボタンを押すと、コントラストが上がり、[–] アイコンでは下がり、[V] アイコンでそれをプリンタに設定します。

4.1.6.2 Backlight (バックライト) :

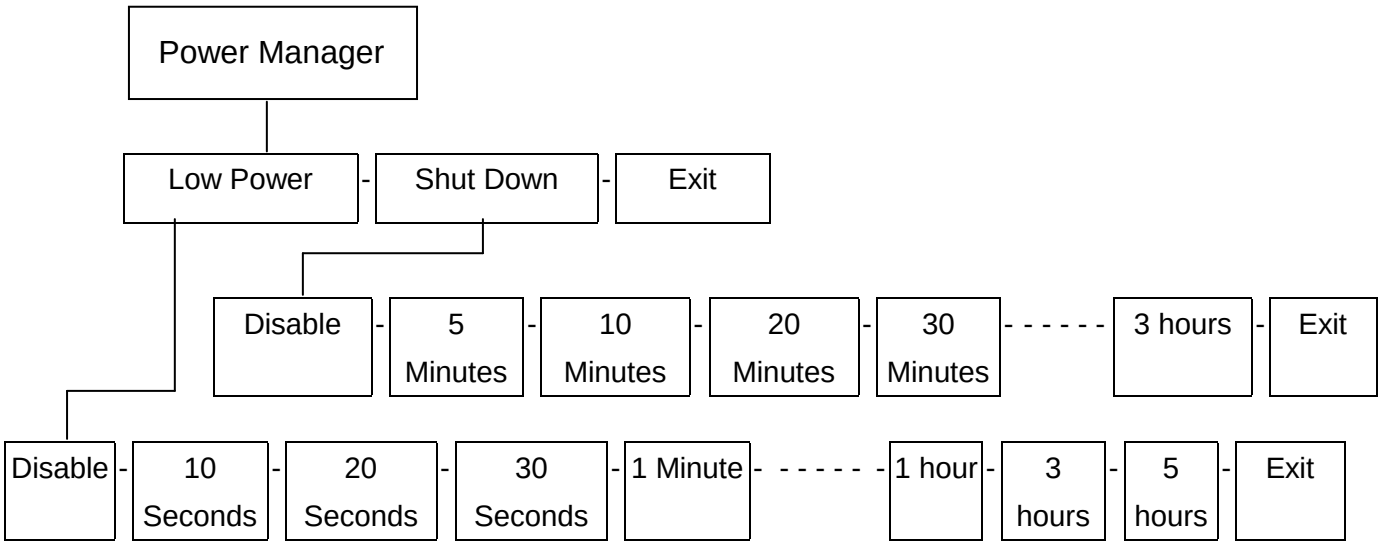
このオプションを使用し、液晶バックライトを有効または無効にします。プリンタのデフォルト設定は、無効です。



⬇ と ⬆ のアイコンの下の ◬ ボタンを押して異なるモードを選び、[V] アイコンの下の ◬ ボタンを押して、設定します。

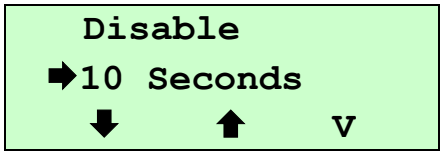
4.1.7 Power Manager (電源マネージャー) (Low Power (低出力), Shut Down (シャットダウン))

このメニューを使用して、プリンタがスリープモードに入る前の時間を設定します。



4.1.7.1 Low Power (低出力) :

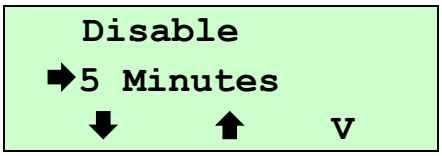
プリンタを一定時間使用しないと、低出力モードに入り、バッテリ電源を節約します。(プリンタがこのモードに入るまでの時間は、10 秒から最大 5 時間に設定することができます。) 低出力モードでは、プリンタを操作することができません。プリンタを操作するには、電源ボタンの以外のボタンのどれかを押すか、RS-232 インターフェースを介してデータを送信する必要があります。



⬇ と ⬆ のアイコンの下の ◬ ボタンを押して異なるモードを選び、[V] アイコンの下の ◬ ボタンを押して、設定します。

4.1.7.2 Shut Down (シャットダウン) :

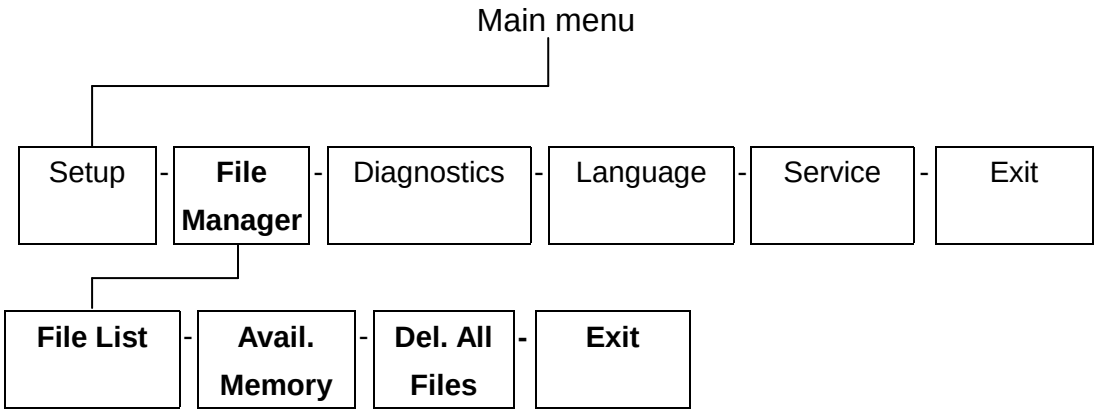
プリンタを一定時間使用しないと、シャットダウンします。プリンタがこのモードに入るまでの時間は、5 秒から最大 3 時間に設定することができます。



⬇ と ⬆ のアイコンの下の ◎ ボタンを押して異なるモードを選び、[V] アイコンの下の ◎ ボタンを押して、設定します。

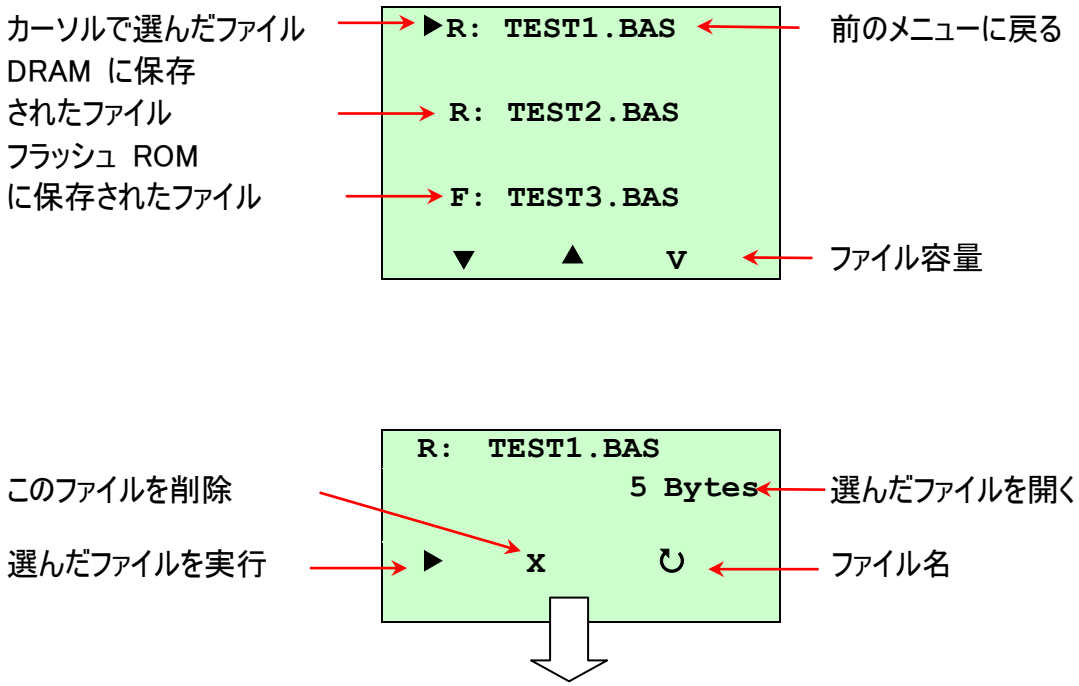
4.2 File Manager (ファイルマネージャー)

このメニューを使用して、プリンタの利用可能なメモリとファイルの一覧を確認します。



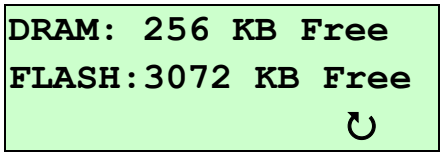
4.2.1 File List (ファイル一覧)

このメニューを使用して、プリンタのフラッシュメモリに保存されたファイルを表示し実行します。



4.2.2 Avail. Memory (利用可能なメモリ)

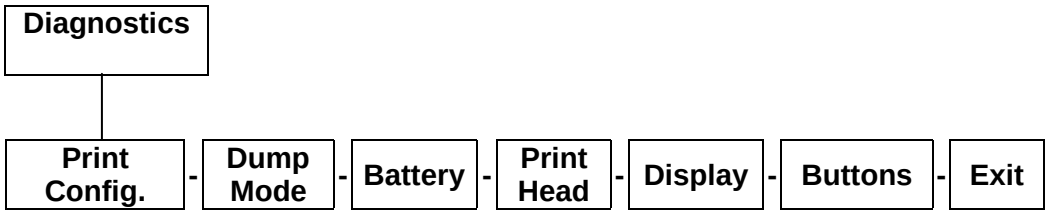
このメニューを使用して、利用可能なメモリの容量を表示します。



4.2.3 Del. All Files (すべてのファイルを削除する)

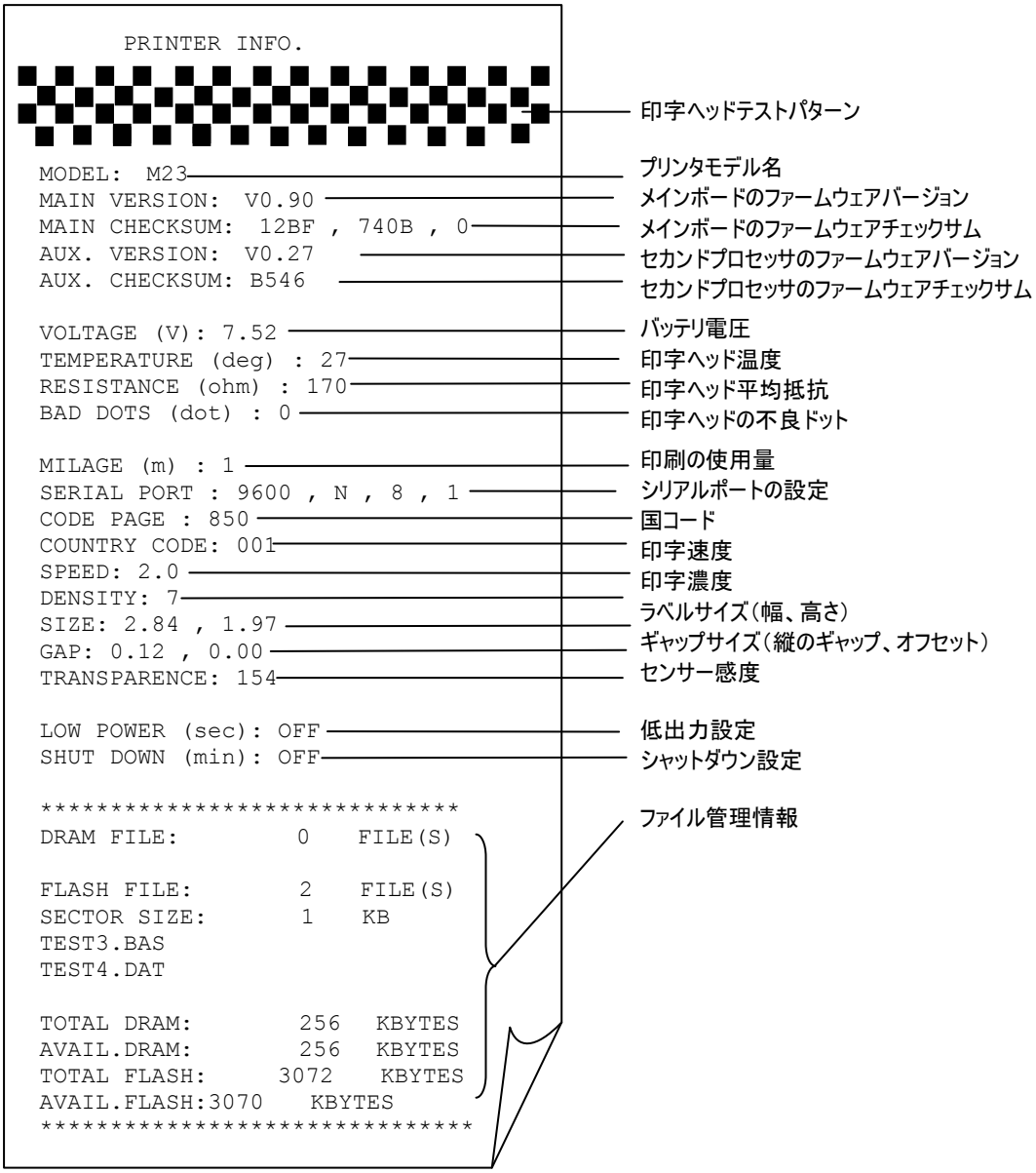
このメニューを使用して、すべてのファイルを削除します。

4.3 Diagnostics (診断)



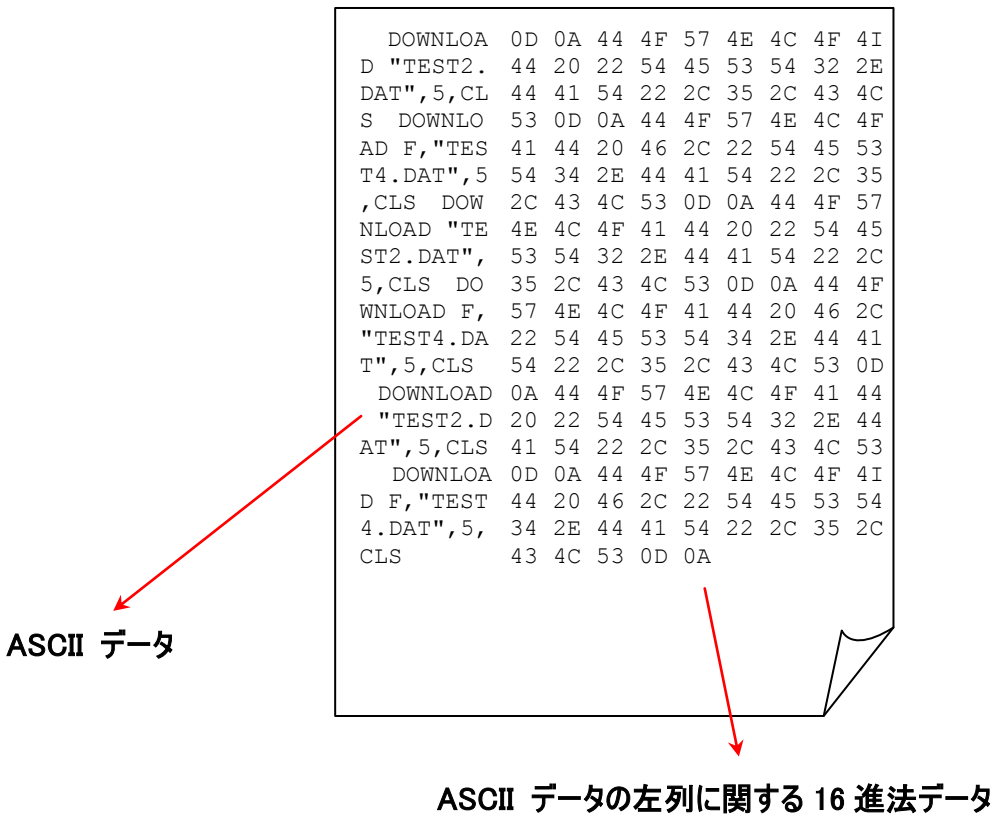
4.3.1 Print Config. (印刷設定)

自己診断のデータをラベルに印刷します。



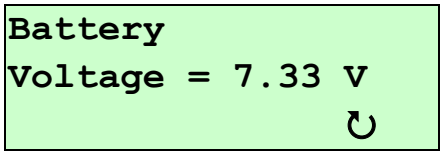
4.3.2 Dump Mode (ダンプモード)

通信ポートからデータをとり、プリンタが受信したデータを印刷します。



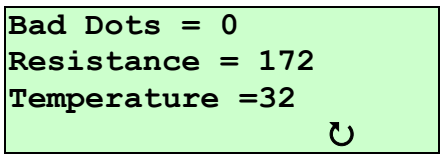
4.3.3 Battery (バッテリ)

このオプションは、バッテリ電圧を確認するのに用いられます。



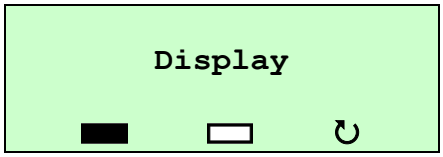
4.3.4 Print Head (印字ヘッド)

このオプションを使用して、不良ドットの印字ヘッドを確認し、印字ヘッドのドット抵抗及び印字ヘッド温度を表示します。

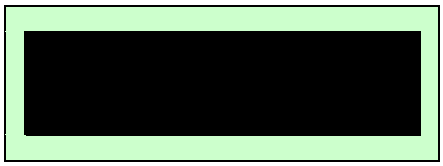


4.3.5 Display (ディスプレイ)

バックライトが動作しているか、またはディスプレイの画素が失われていないかを表示します。



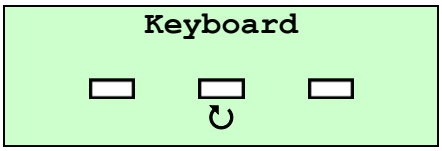
■ アイコンの下の △ ボタンを押して、液晶に白点がないかどうか確認します。液晶が黒くなり、ボタンをどれか押して、ディスプレイメニューに戻ります。



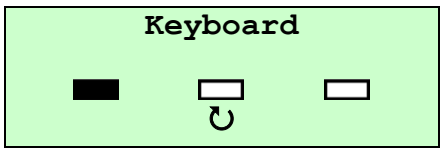
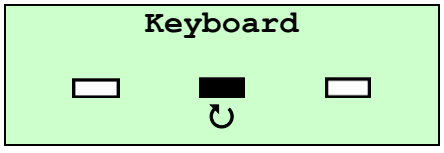
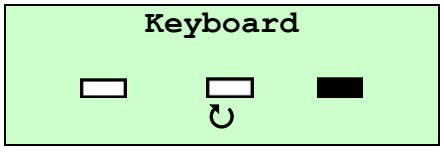
▭ アイコンの下の △ ボタンを押して、液晶に黒点がないかどうか確認します。液晶が空白になり、ボタンをどれか押して、ディスプレイメニューに戻ります。

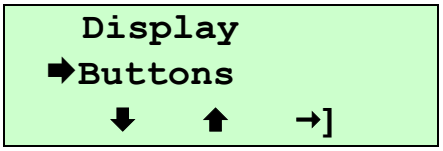
4.3.6 Buttons (ボタン)

キーパッドのボタンが正しく動作しているかどうか確認します。



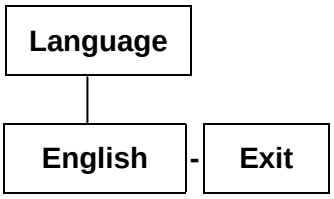
▭ 液晶アイコンの下の △ ボタンを押して、ボタンが正しく動作しているかどうか確認します。 Feed Ready ボタンを押して、ボタンメニューに戻ります。

の下のボタン ▭	機能
△ △ △ V	
△ △ △ V	
△ △ △ V	

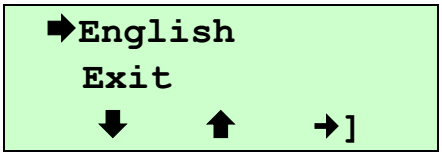
	

Display
➡Buttons
⬇ ⬆ →]

4.4 Language (言語)

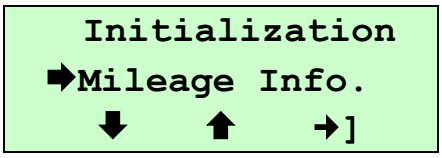


このオプションを使用し、液晶ディスプレイの言語を設定します。



4.5 Service (サービス)

このオプションは、プリンタの設定を初期設定に戻し、プリンタの使用量の情報を表示するのに用いられます。



4.5.1 Initialization (初期化)

プリンタを初期化すると、プリンタの設定は次の初期設定値に戻ります。

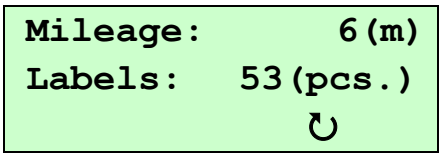
パラメータ	初期設定値
速度	50mm/秒 (2 ips)
濃度	7
ラベル幅	2.83″(72.0mm)
ラベル高さ	2.5″(63.4mm)
センサータイプ	ギャップセンサー
ギャップ設定	0.12″(3.0mm)
印字方向	0
基準点	0.0(左上の隅)
オフセット	0
切り取りモード	オン
ピールオフモード	オフ
シリアルポートの設定	9600 bps、パリティなし、8 データビット、1 ストップビット
コードページ	850
国コード	001
フラッシュメモリのクリア	なし
シフト	0

ギャップ強度	156
Bline 強度	226
液晶コントラスト	50
バックライトオフ時間	10 秒
低出力時間	オフ
シャットダウン時間	オフ

注：プリンタの初期化が完了したら、ギャップセンサーまたはブラックマークセンサーをもう 1 度補正してください。

4.5.2 Mileage Info. (使用量情報)

このオプションを使用して、印刷の使用量を確認します（メートルで表示）。



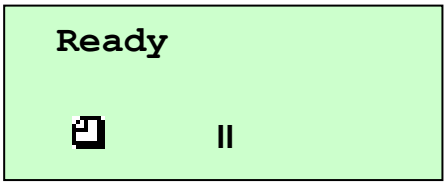
5. ラベルに印字する

5.1 ケーブルをつないで印字する

1. 同梱のプリンタドライバとラベルソフトウェアを、Windows オペレーティングシステムにインストールする。

2. プリンタを、RS-232C または USB ケーブルで、コンピュータ・メインフレームに接続する。（2.4 章を参照してください。）

3. ディスプレイが点くまで ボタンを押し続けると、次の内容が表示される。



4. サプライを取り付け、補正する。

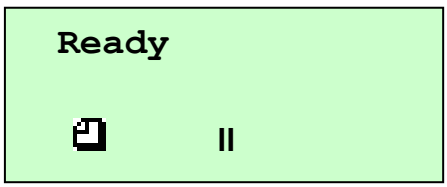
5. ラベルに印字する。

5.2 無線で接続する (オプション)

Bluetooth

1. 2.5 章を参照して、bluetooth を接続する。

2. ディスプレイが点くまで ボタンを押し続け、プリンタの電源を入れる。ディスプレイにプリンタのバージョン、バッテリ充電状態が表示され、その後に次の内容が表示される。



3. サプライを取り付け、補正する。
4. 次を参照して、bluetooth を補正する。

   (1) 2.5 章を参照して、bluetooth デバイスをプリンタに差し込む。+5V / DTR スイッチが +5V の位置に設定されていることを確認する。
   (2) 4.1 章を参照して通信値が **115200、なし、8, 1** に設定されていることを確認する。オプション “Serial Comm.” [シリアル通信] を参照。
   (3) 4.1 章を参照して、Bluetooth セキュリティを有効または無効にし、PIN を変更し、ローカル名の変更し、Bluetooth 情報を表示する。

5. ラベルに印字する。

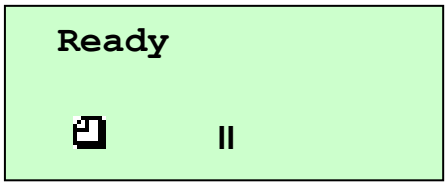
RF ネットワーク

1. RF ネットワークを RS232 ポートに接続する。
2. プリンタの電源を入れ、サプライを取り付け、補正する。
3. 4.1 章を参照して通信値が **19200、なし、8, 1** に設定されていることを確認する。オプション “Serial Comm.” [シリアル通信] を参照。
4. ラベルに印字する。

5.3 単体での印字

単体で印字する前に:（フォーマットをダウンロードする）

1. コンピュータの電源を入れ、ドライバとソフトウェアをインストールする。
2. プリンタを、RS-232C または USB ケーブルで、コンピュータ・メインフレームに接続する。
3. ディスプレイが点くまで ボタンを押し続け、プリンタの電源を入れる。ディスプレイにプリンタのバージョン、バッテリ充電状態が表示され、その後に次の内容が表示される。



4. フォーマットとバッチをダウンロードする。プログラマー用マニュアルを参照。（サービスまたはサポートのウェブサイトからダウンロードできます。）

単体での印字を開始する:

1. 通信ケーブルを抜く。
2. サプライに印字する（プログラマー用マニュアルを参照。）
3. 印字されたサプライ取り外す。

6. トラブルシューティング

次のガイド一覧は、このバーコードプリンタを操作中に起こる可能性のある最も一般的なトラブルです。ここに記載された解決方法でもプリンタが機能しない場合は、お買い上げいただいた販売店または代理店の顧客サービス部門までご連絡ください。

トラブル	考えられる原因	復旧手順
電源がない	バッテリが正しく入れられているか確認する。	バッテリを取り付け直す
	バッテリ残量が少ない場合、バッテリの電圧メータを確認する。	必要に応じて、バッテリを再充電するか、交換する。
印字しない	バッテリが完全に充電されていることを確認する。	バッテリを再充電／交換する。
	フロントドアが完全に閉まっているかどうか確認する。	フロントドアを完全に閉める。
	ケーブルがシリアルまたは USB インターフェースにきちんと接続されているか確認する。	ケーブルをインターフェースにつなぎ直す。
	ワイヤレス設定が正しく設定されているか確認する。	ワイヤレスの設定をやり直す。
紙がない	ラベル切れ。	新しいラベルロールを供給する。
	ラベルが正しく取り付けられていない。	取扱説明書の手順を参照してラベルロールを付け直す。
	ギャップ／ブラックマークセンサーが補正されていない。	ギャップ／ブラックマークセンサーを補正する。

印字品質がよくない	バッテリが完全に充電されていることを確認する	再充電／新しいバッテリに交換する
	フロントドアが完全に閉まっているかどうか確認する	フロントドアを完全に閉める
	サプライが正しく取り付けられているか確認する	サプライを付け直す
	印字ヘッドに埃や接着剤が溜まっていないか確認する。	印字ヘッドを清掃する
	印字濃度が正しく設定されているか確認する。	印字濃度と印字速度を調整する。
	ヘッドのテストパターンを確認し、ヘッドの構成部分が損傷を受けていないかどうか判断する	プリンタの自己診断を実行し、印字ヘッドのテストパターンを確認し、抜けているパターンがないか確認する
紙詰まり	ギャップ／ブラックマークセンサーが正しく設定されていない	ギャップ／ブラックマークセンサーを補正する
	ラベルのサイズが正しく設定されているか確認する。	ラベルサイズを正しく設定する
	ラベルがプリンタ機構内で詰まっている可能性がある。	詰まったラベルを除去する。
	シリアルポートがホストとプリンタの間で一致していない。	シリアルポートの設定をリセットする。
	シリアルポートのケーブルピンの構成が正しくない。	ヌルモデムケーブルを交換する
バッテリの寿命が短くなった	バッテリの日付コードを確認し、バッテリが1～2 年前のものである場合、正常な老朽化による寿命の短縮である可能性がある。	バッテリを交換する。

7. メンテナンス

この章では、プリンタのメンテナンスのための掃除の用具と方法について説明します。

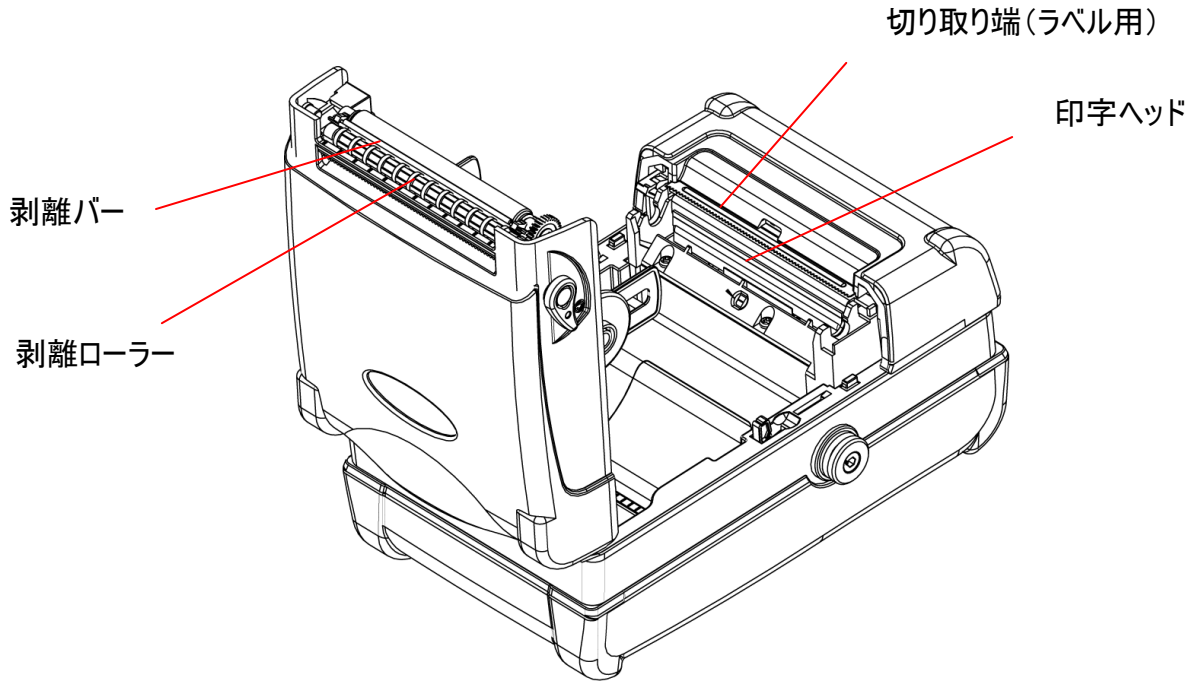
1. プリンタの掃除には、次の材料を使用してください。

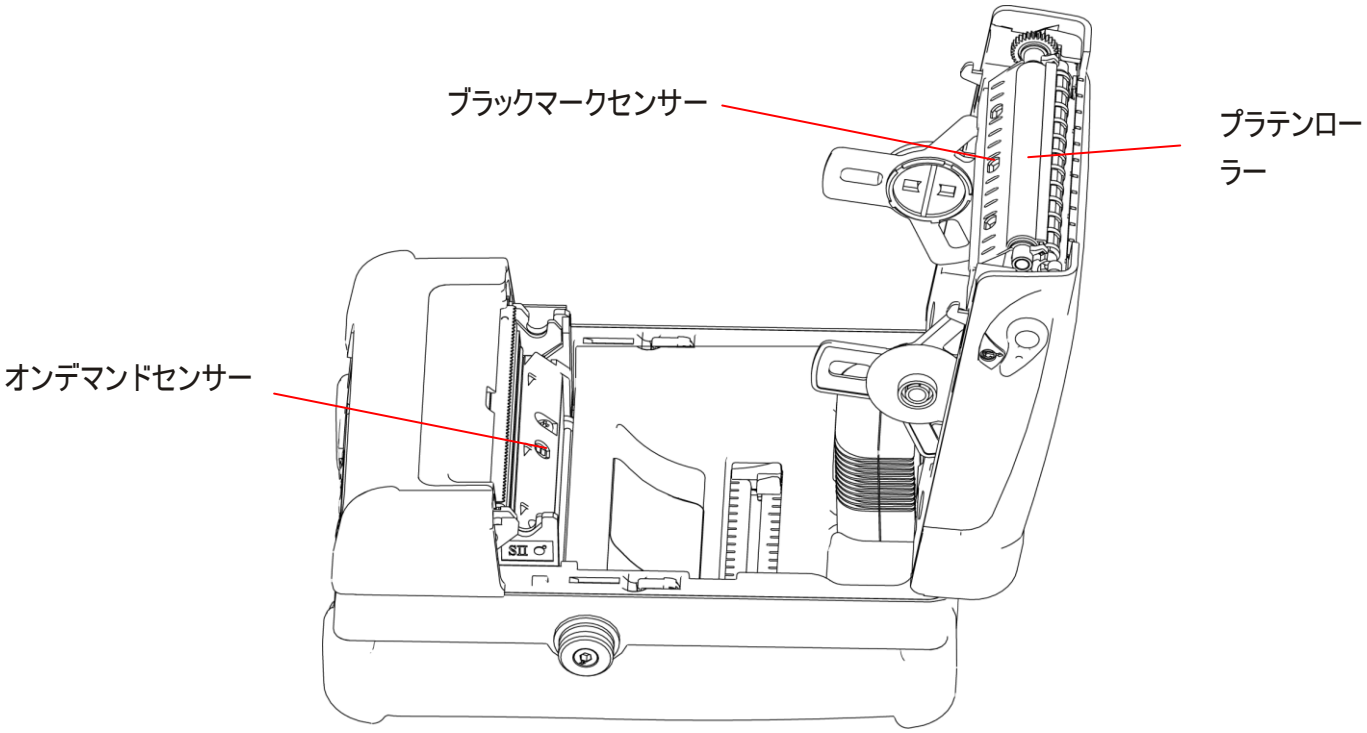
- 綿棒
- 糸くずの出ない布
- 掃除機
- 100%エタノール

2. 掃除の手順は、次のとおりです。

プリンタの部品名	方法	頻度
印字ヘッド	1. 印字ヘッドの清掃前には、必ずプリンタの電源を切る。 2. 印字ヘッドは 1 分以上冷却させる。 3. 綿棒と 100%エタノールを使用して、印字ヘッドの表面を掃除する。	新しいラベルロールに変更するときに、印字ヘッドを掃除する
プラテンローラー	1. プリンタの電源を切る。 2. プラテンローラーを回し、100%エタノールと綿棒または糸くずの出ない布で全面を拭く。	新しいラベルロールに変更するときに、プラテンローラーを掃除する
剥離ローラー	1. プリンタの電源を切る。 2. ピールオフローラーを回し、100%エタノールと綿棒または糸くずの出ない布で全面を拭く。	新しいラベルロールに変更するときに、剥離ローラーを掃除する
切り取りバー／剥離バー	糸の出ない布に 100%エタノールをつけて拭く。	必要に応じて
センサー	圧縮空気または掃除機	月 1 回
外部	水で濡らした布で拭く	必要に応じて
内部	ブラシまたは掃除機	必要に応じて

3. 掃除を推奨する部品の図:





注：

- 印字ヘッドを手で触らないでください。不注意で触ってしまった場合、100%エタノールで掃除してください。
- 工業用アルコールです。印字ヘッドの故障の原因になりますので、通常のアルコールは使用しないでください。
- サプライエラーメッセージが頻繁に表示される場合、サプライセンサーを頻繁に掃除する必要がある可能性があります。

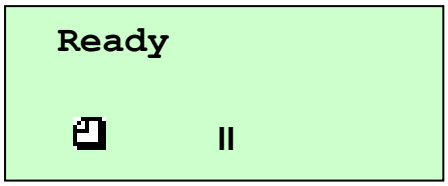
8. ファームウェア更新手順

RS-232 と USB の両方のインターフェースで、プリンタのファームウェアのアップグレードを行うことができます。次のファームウェア更新手順を参照してください。

8.1 シリアルポートを介してファームウェアを更新する

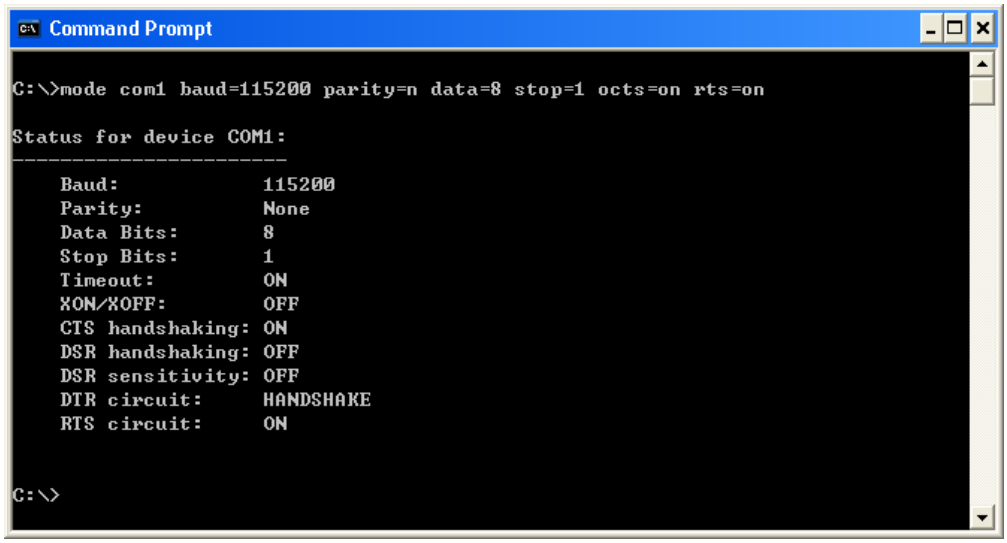
1. M23 の［シリアル通信］の設定を、次のように設定する。
   ボーレート＝115200
   パリティ＝パリティなし
   データビット＝8 データビット
   ストップビット＝1 ストップビット

2. プリンタが準備完了モードになる。

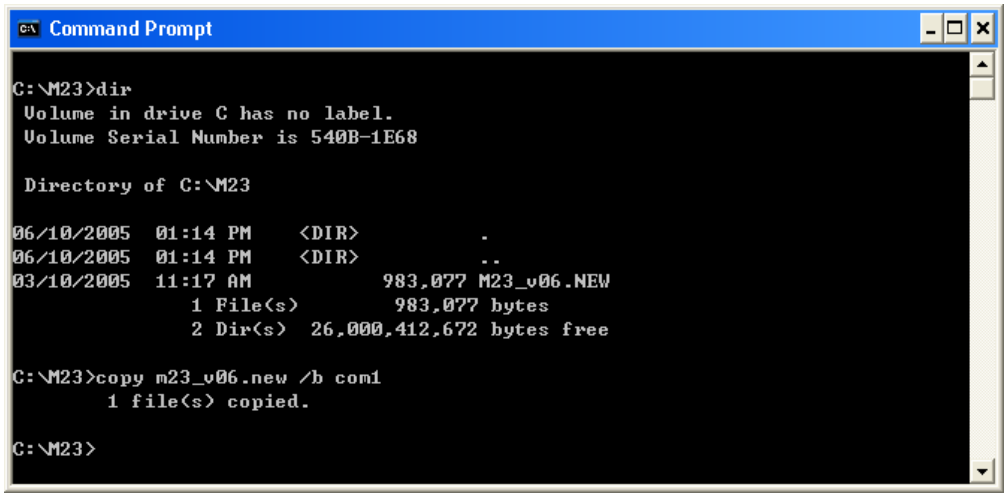


方法 1：MS-DOS モード（コマンドプロンプト）で、ファームウェアファイル（*.NEW）をシリアルポートを介しプリンタにコピーする。

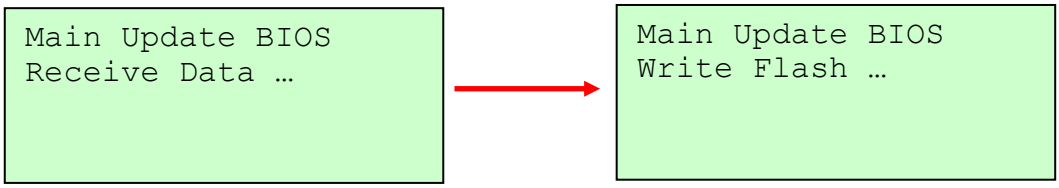
(1) PC の COM ポートの設定を設定する。
コマンドプロンプトモードで、次のコマンドを発行し、PC RS-232 通信パラメータを設定してください。
C:\>mode com1 baud=115200 parity=n data=8 stop=1 octs=on rts=on <Enter>



(2) ファームウェアファイルを、バイナリコピーパラメータで、M23 にコピーする。
C:\>copy M23_v06.NEW /b com1



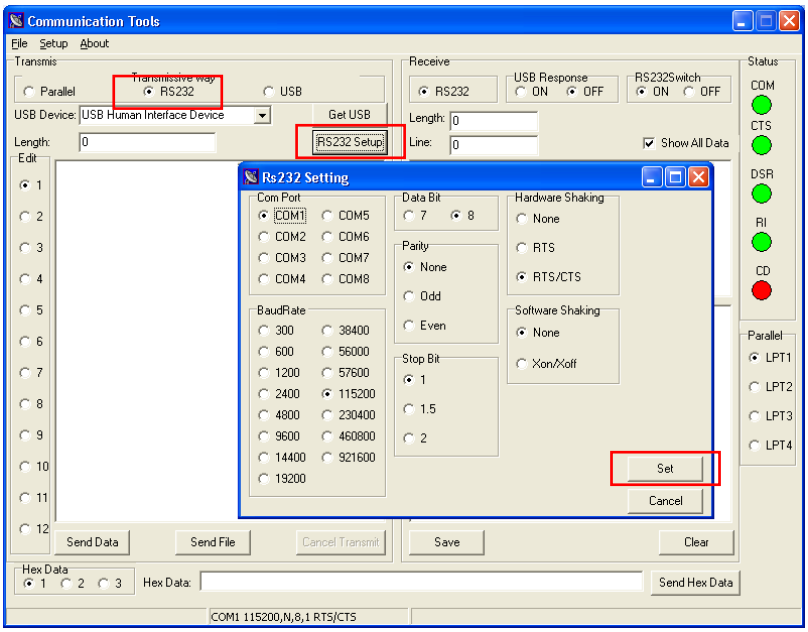
(3) ファームウェアの更新中に、M23 の液晶に次のメッセージが表示される。



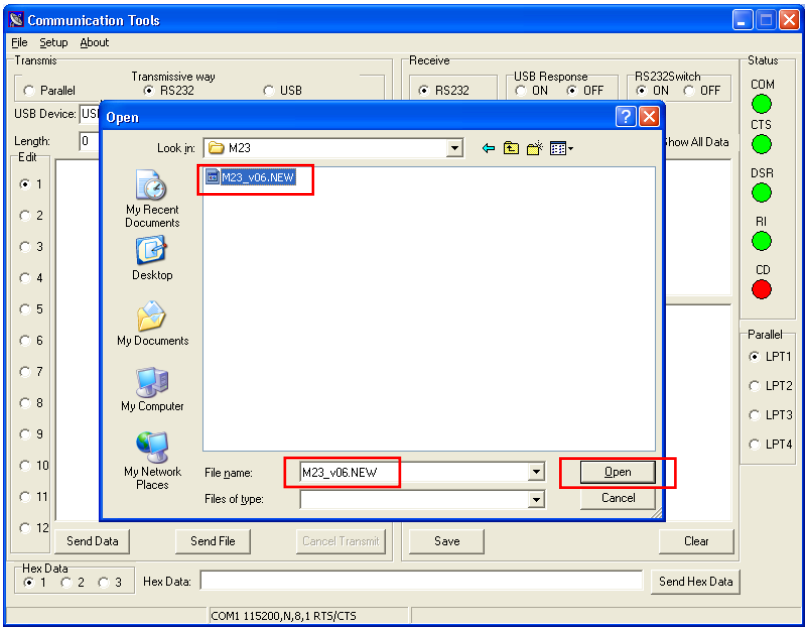
(4) ファームウェアの更新が完了すると、プリンタが自動的にリセットされる。

方法 2: [CommTool.exe] のユーティリティを使用して、プリンタのファームウェアを更新する

(1) [RS232 セットアップ] ボタンをクリックし、[CommTool] ユーティリティを開始し、PC RS-232 通信パラメータを設定する。



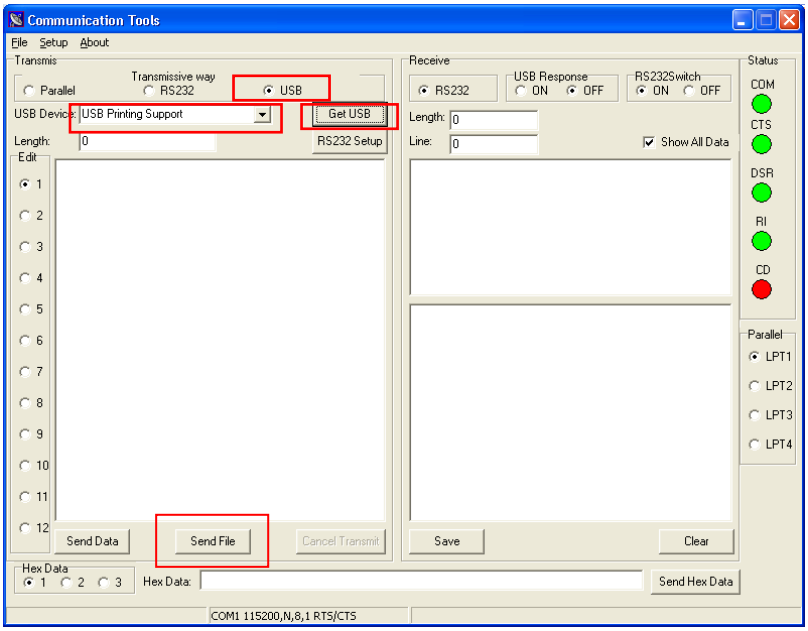
(2) [ファイル送信] ボタンをクリックし、ファームウェアファイルを選び、RS-232 インターフェースからファームウェアを更新する。



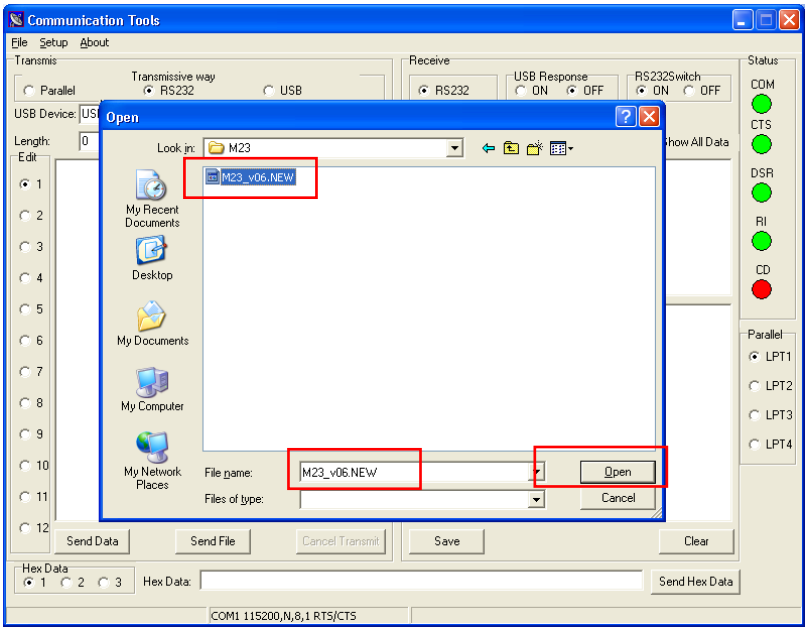
(3) ファームウェアの更新が完了すると、プリンタが自動的にリセットされる。

8.2 USB ポートを介してファームウェアを更新する

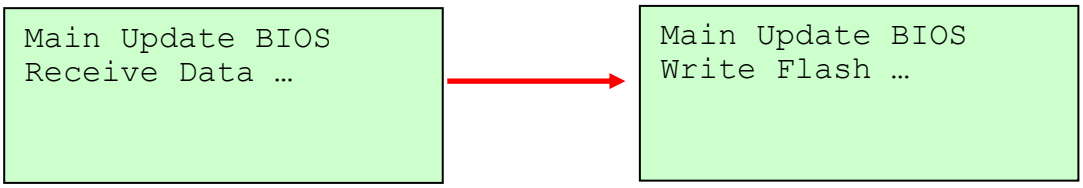
1. USB ポートを選び、[USB 取得] ボタンをクリックする。
2. USB デバイスオプションnで、[USB 印刷サポート] を選ぶ。



3. “Send File” [ファイル送信] ボタンをクリックし、選んだファームウェアファイルを、USB インターフェースから送信し、プリンタのファームウェアを更新する。



4. ファームウェアの更新中に、M23 の液晶に次のメッセージが表示される。

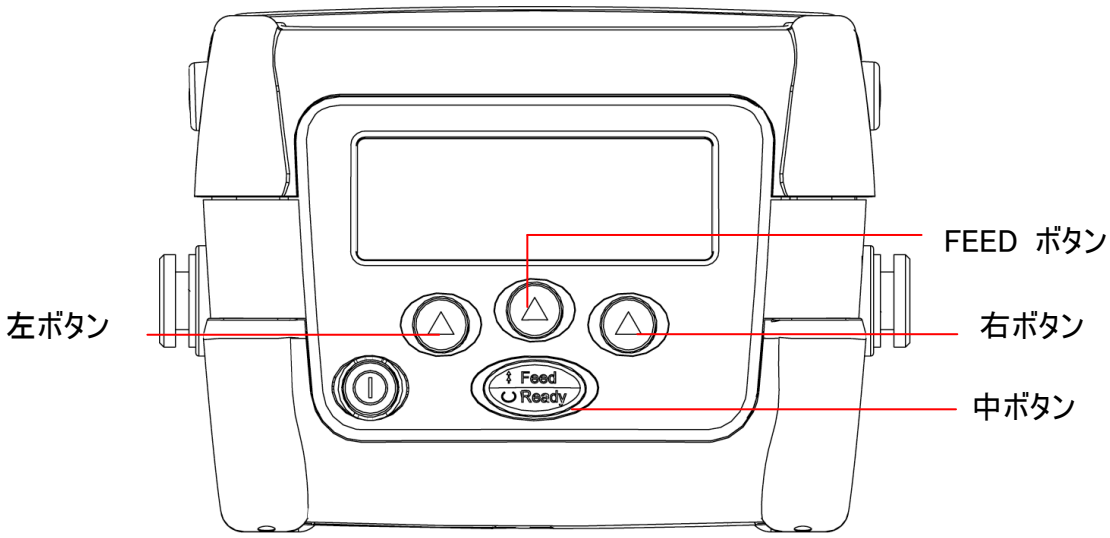


5. ファームウェアの更新が完了すると、プリンタが自動的にリセットされる。

9. 電源投入ユーティリティ

プリンタのハードウェアの設定とテストを行う電源投入ユーティリティは 2 つあります。これらのユーティリティは、ボタンを押しながらプリンタの電源を入れると、有効になります。ユーティリティは次のとおりです。

1. プリンタの初期化
2. AUTO.BAS 無視



9.1 プリンタの初期化

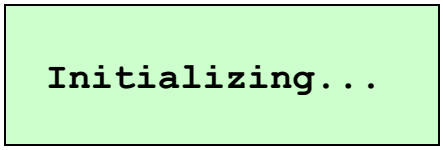
プリンタを初期化すると、プリンタの設定が初期設定値に戻ります。
初期設定値は次のとおりです。

パラメータ	初期設定値
速度	50mm/秒 (2 ips)
濃度	7
ラベル幅	2.83″(72.0mm)
ラベル高さ	2.5″(63.4mm)
センサータイプ	ギャップセンサー

ギャップ設定	0.12″(3.0mm)
印字方向	0
基準点	0.0(左上の隅)
オフセット	0
切り取りモード	オン
ピールオフモード	オフ
シリアルポートの設定	9600 bps、パリティなし、8 データビット、1 ストップビット
コードページ	850
国コード	001
フラッシュメモリのクリア	なし
シフト	0
ギャップ強度	156
Bline 強度	226
液晶コントラスト	50
バックライトオフ時間	10 秒
低出力時間	オフ
シャットダウン時間	オフ

次の手順でプリンタを初期化してください。

1. プリンタの電源を切る。
2. **中央と右**のボタンを押しながら、プリンタの電源を入れる。
3. 次のように、プリンタの液晶に "Initializing..." [初期化中] と表示されまで、ボタンを押したままにする。



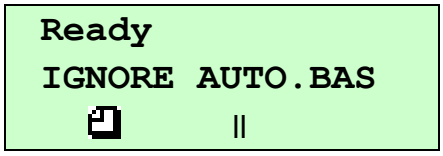
注: プリンタの初期化が完了したら、ギャップセンサーまたはブラックマークセンサーをもう 1 度補正してください。

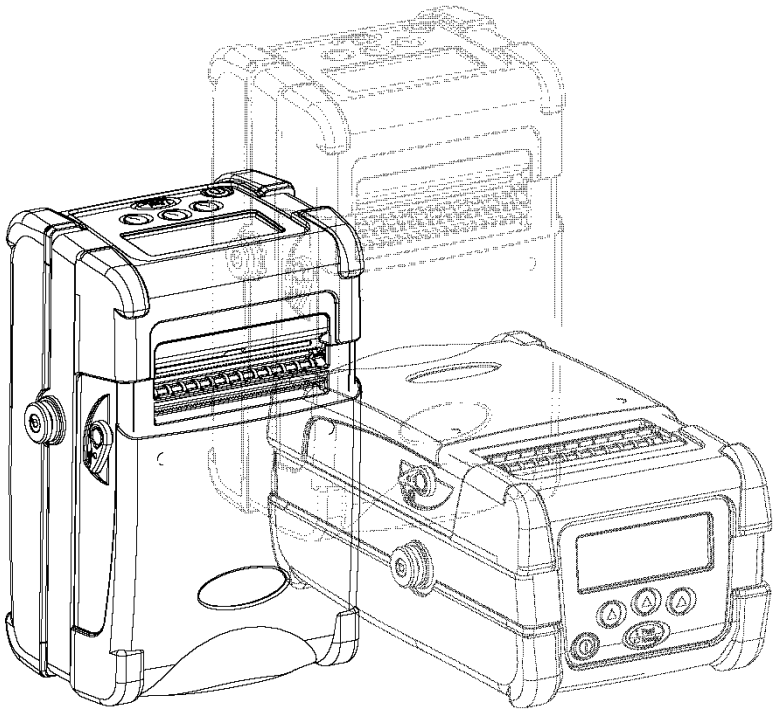
9.2 AUTO.BAS 無視

AUTO.BAS ファイルがプリンタのフラッシュメモリにダウンロードされていると、プリンタの電源を入れた際に、プリンタがこのプログラムを自動的に実行します。

次の手順で AUTO.BAS ファイルを省略してください。

1. プリンタの電源を切る。
2. **右**ボタンを押しながら、プリンタの電源を入れる。
3. プリンタの準備が完了するまでボタンから手を放さずにしていると、液晶の［準備完了］の下に、[AUTO.BAS 無視] と表示される。





TSC Auto ID Technology Co., Ltd.

Corporate Headquarters
9F., No.95, Minquan Rd., Xindian Dist.,
New Taipei City 23141, Taiwan (R.O.C.)
TEL: +886-2-2218-6789
FAX: +886-2-2218-5678
Web site: www.tscprinters.com
E-mail: printer_sales@tscprinters.com
tech_support@tscprinters.com

Li Ze Plant
No.35, Sec. 2, Ligong 1st Rd., Wujie Township,
Yilan County 26841, Taiwan (R.O.C.)
TEL: +886-3-990-6677
FAX: +886-3-990-5577